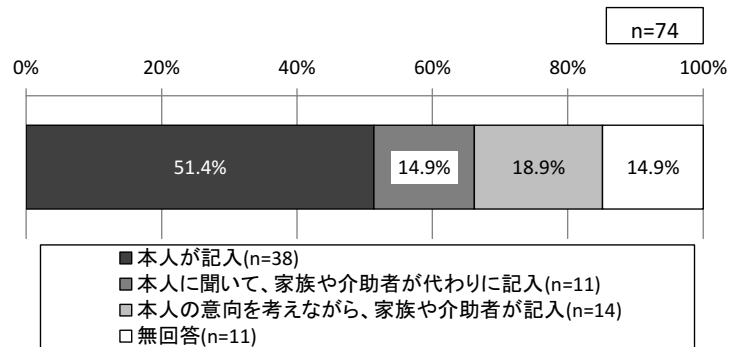


調査結果 IX. 発達障害者

問1 この用紙(調査票)に記入されるのはどなたですか。(○は1つ)

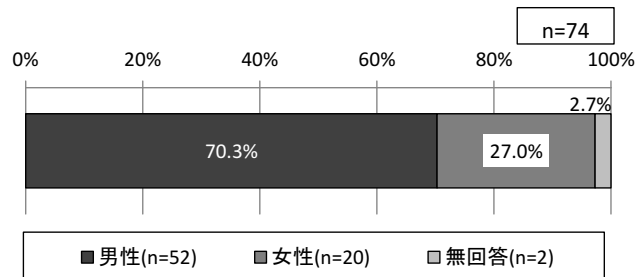
記入者については、「本人が記入」が51.4%、「本人に聞いて、家族や介助者が代わりに記入」が14.9%、「本人の意向を考えながら、家族や介助者が記入」が18.9%となっています。



《あなた(宛名の方)の性別・年齢などについて》

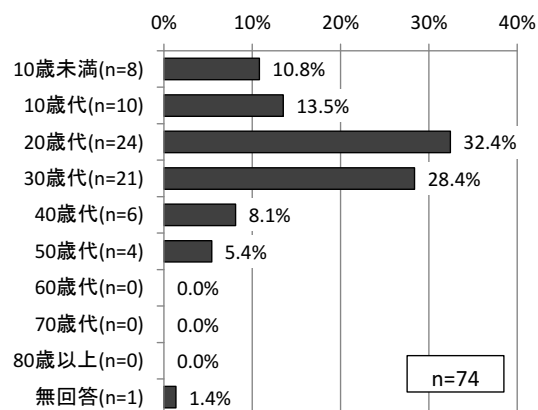
問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

性別については、「男性」が70.3%、「女性」が27.0%となっています。



問3 あなたの年齢(9月1日現在)を記入してください。

年齢については、「20歳代」が32.4%と最も高く、次いで「30歳代」が28.4%、「10歳代」が13.5%となっています。



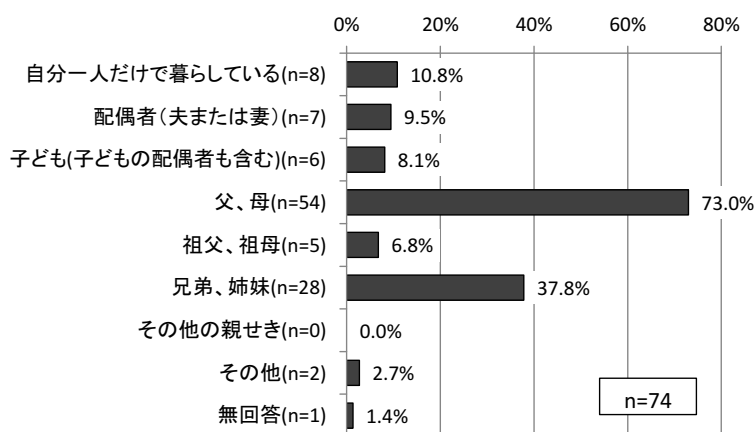
問4 現在、あなたはどこで暮らしていますか。(〇は1つ)

暮らしている場所については、「自宅」で暮らしている方が9割以上(93.2%)と最も高くなっています。

n=74	自宅 (n=69)	グループ ホーム (n=2)	病院に入院 している (n=1)	施設に入所 している (n=0)	その他 (n=1)	無回答 (n=1)
	93.2%	2.7%	1.4%	0.0%	1.4%	1.4%

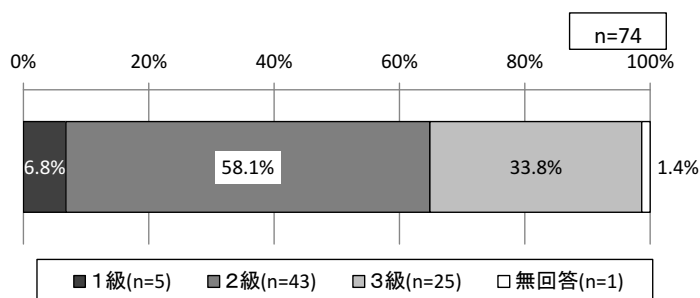
問5 現在、あなたと一緒に暮らしている人はどなたですか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

同居家族については、「父、母」と暮らしている方が73.0%と最も高く、次いで「兄弟、姉妹」が37.8%となっています。



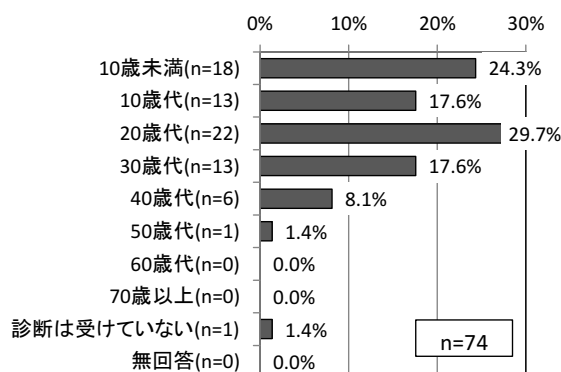
問6 お手持ちの「精神障害者保健福祉手帳」の等級は何級ですか。(〇は1つ)

所持している「精神障害者保健福祉手帳」の等級については、「2級」が58.1%、「3級」が33.8%、「1級」が6.8%となっています。



問7 発達障害と診断を受けたのは、何歳くらいのときですか。(○は1つ)

発達障害の診断を受けた年齢については、「20歳未満」が29.7%と最も高く、次いで「10歳未満」が24.3%、「10歳代」、「30歳代」がともに17.6%となっています。



問8 発達障害があるために、日常生活を送る上で特に困ることは何ですか。自由にお書きください。

- 物事に対して忘れること
- ・行き違いがある ・忘れることがある ・ムカムカする
- ・思い込みや新しいことが覚えにくい ・字を書くのが遅い
- 今までできていたことができなくなっている。1人での行動、外出が難しい。複雑な文章は理解しにくい。会話の中でも難しい言葉などはわかりにくい時がある。
- 病気の自覚も持てず記入できず
- とっさの判断力が弱い時がある。

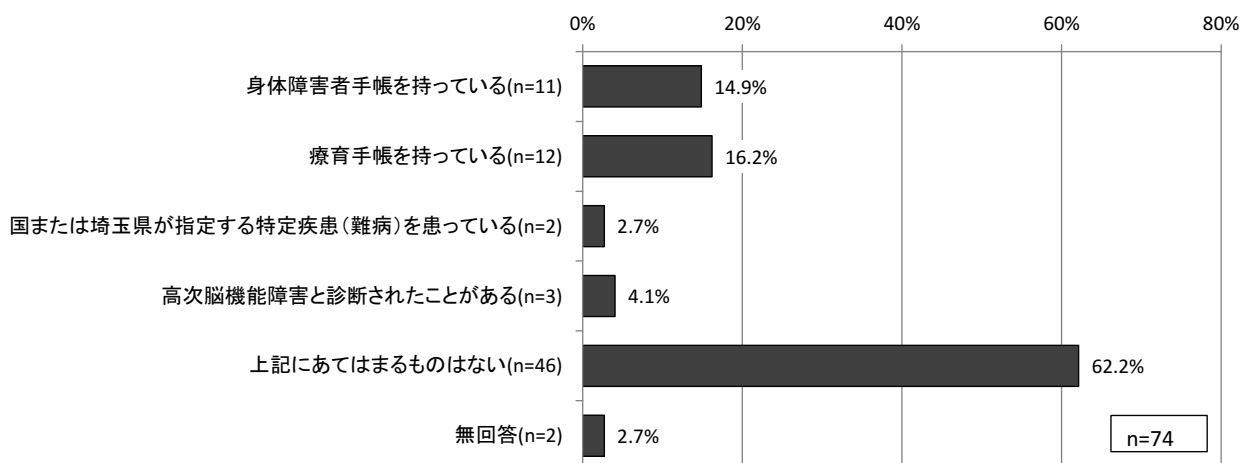
問9 問8のようなときに、どのような支援があるとよいと思いますか。自由にお書きください。

- 本人に対して物事をたずねたときに焦らず受け答えをする。左右に聞く。聞き流す事
- ・指示を紙で示す ・パソコンが活用できる支援があると良い
- 外出の時などは介助者（援助者）がいると良い。（公共の乗り物を利用するときなど）

問10 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

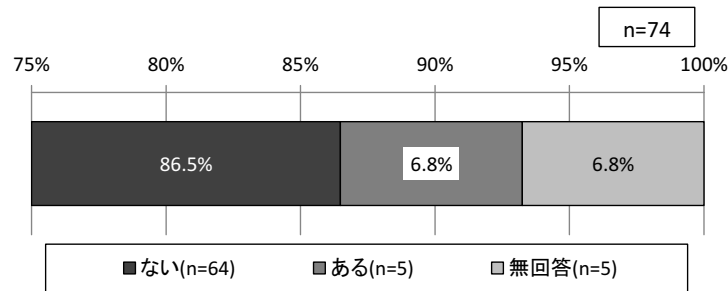
「療育手帳を持っている」が16.2%と最も高くなっており、次いで「身体障害者手帳を持っている」が14.9%となっています。

また、「上記にあてはまるものはない」は62.2%となっています。

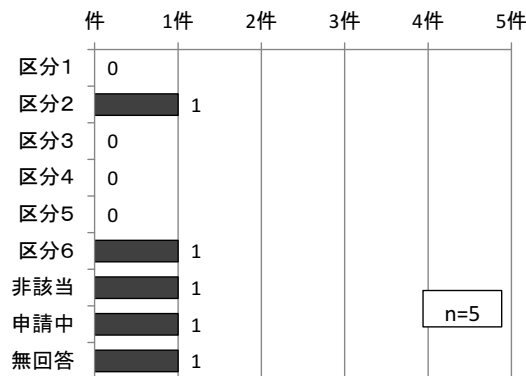


問11 あなたは、障害者総合支援法に基づく介護給付を受けるために「障害支援区分(6段階)」の認定を受けたことがありますか。ある場合には、区分にも○をつけてください。(○は1つ)

「障害支援区分」の認定を受けたことが「ある」人は、6.8%となっています。区分としては、「区分2」、「区分6」がともに1件となっています。

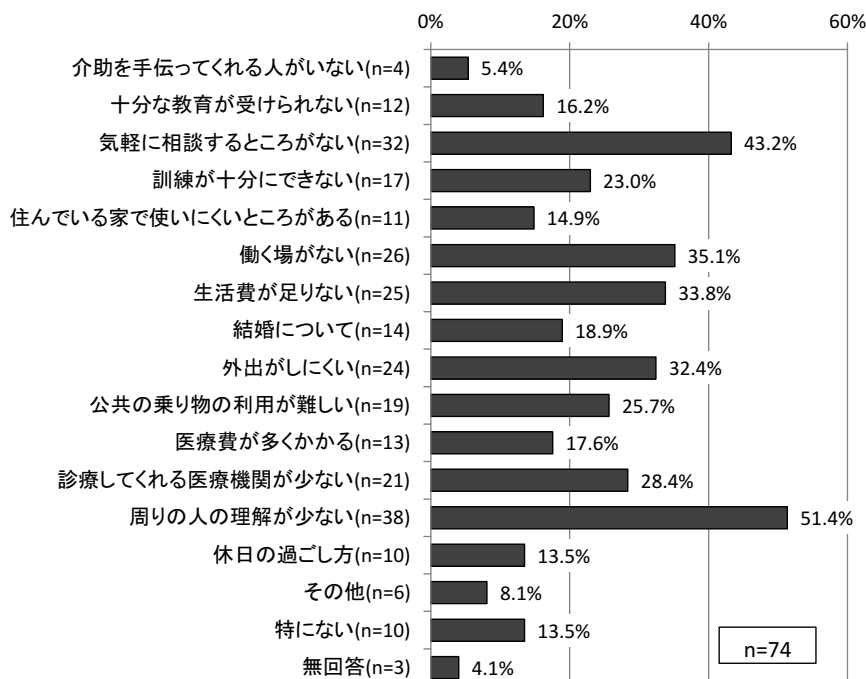


【障害支援区分内訳】



問12 現在の生活で困っていることや悩んでいることはありますか。(○はいくつでも)

現在の生活で困っていることや悩んでいることについては、「周りの人の理解が少ない」が51.4%と最も高く、次いで「気軽に相談するところがない」が43.2%、「働く場がない」が35.1%となっています。

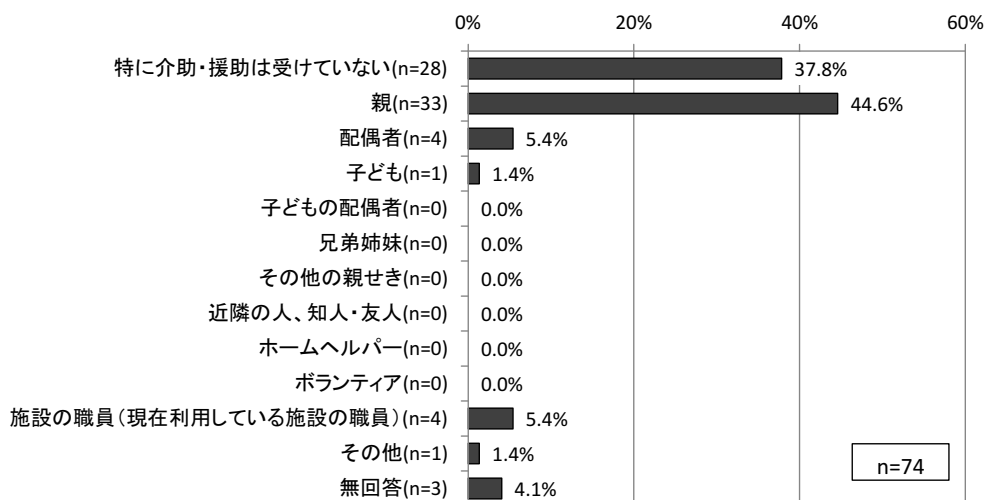


《 介 助 ・ 援 助 の 状 況 に つ い て 》

問13 ふだん、あなたを主に介助・援助しているのはどなたですか。(○は1つ)

主な介助者・援助者については、「親」が44.6%と最も高く、次いで「配偶者」、「施設の職員（現在利用している施設の職員）」が5.4%となっています。

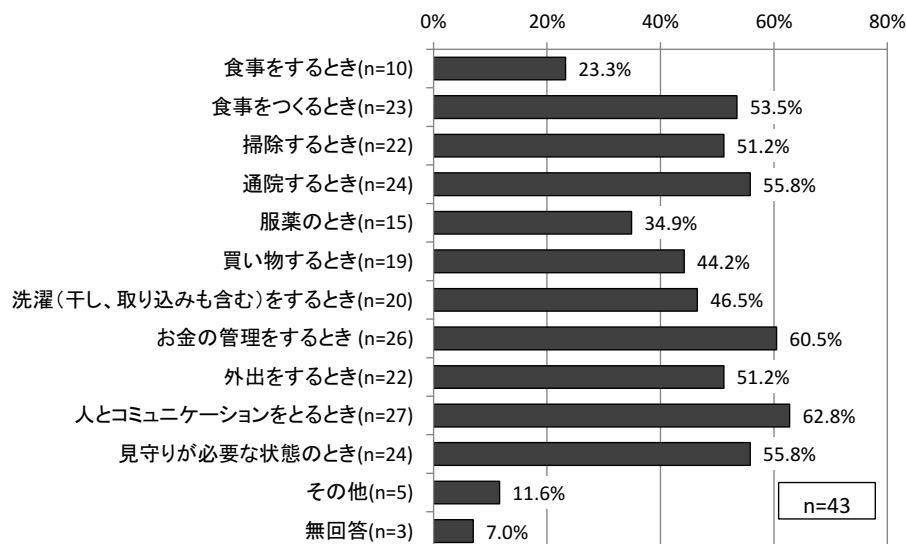
また、「特に介助・援助は受けていない」は37.8%となっています。



[介助・援助を受けている方におききます]

問14 どのようなときに介助・援助を受けていますか。(○はいくつでも)

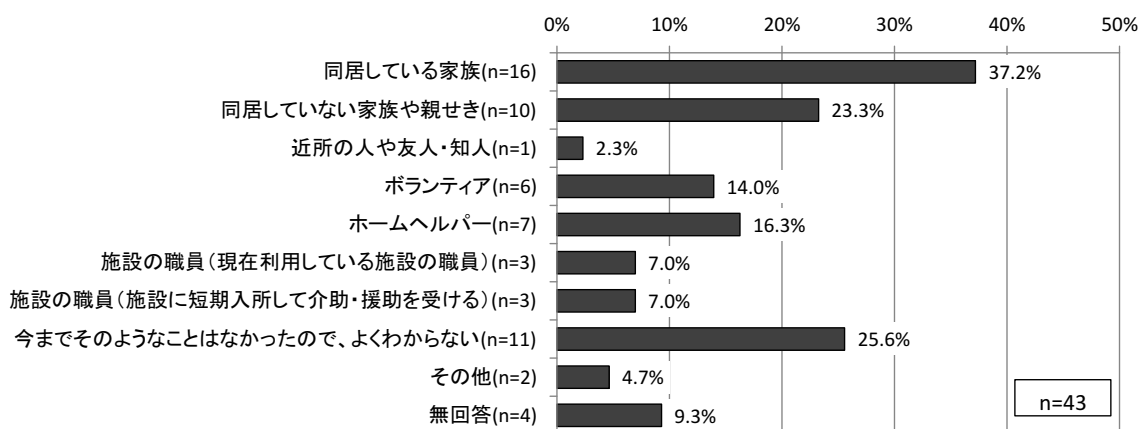
介助・援助を受けている場面については、「人とコミュニケーションをとるとき」が62.8%と最も高く、次いで「お金の管理をするとき」が60.5%、「通院するとき」、「見守りが必要な状態のとき」がともに55.8%となっています。



問15 あなたを主に介助・援助している方が、病気のときや外出をしなければならないときなどは、替わりに誰に介助・援助してもらいたと思いますか。(〇はいくつでも)

主な介助・援助者が不在のときは、「同居している家族」の介助・援助を希望する方が37.2%と最も高く、次いで「同居していない家族や親せき」が23.3%となっています。

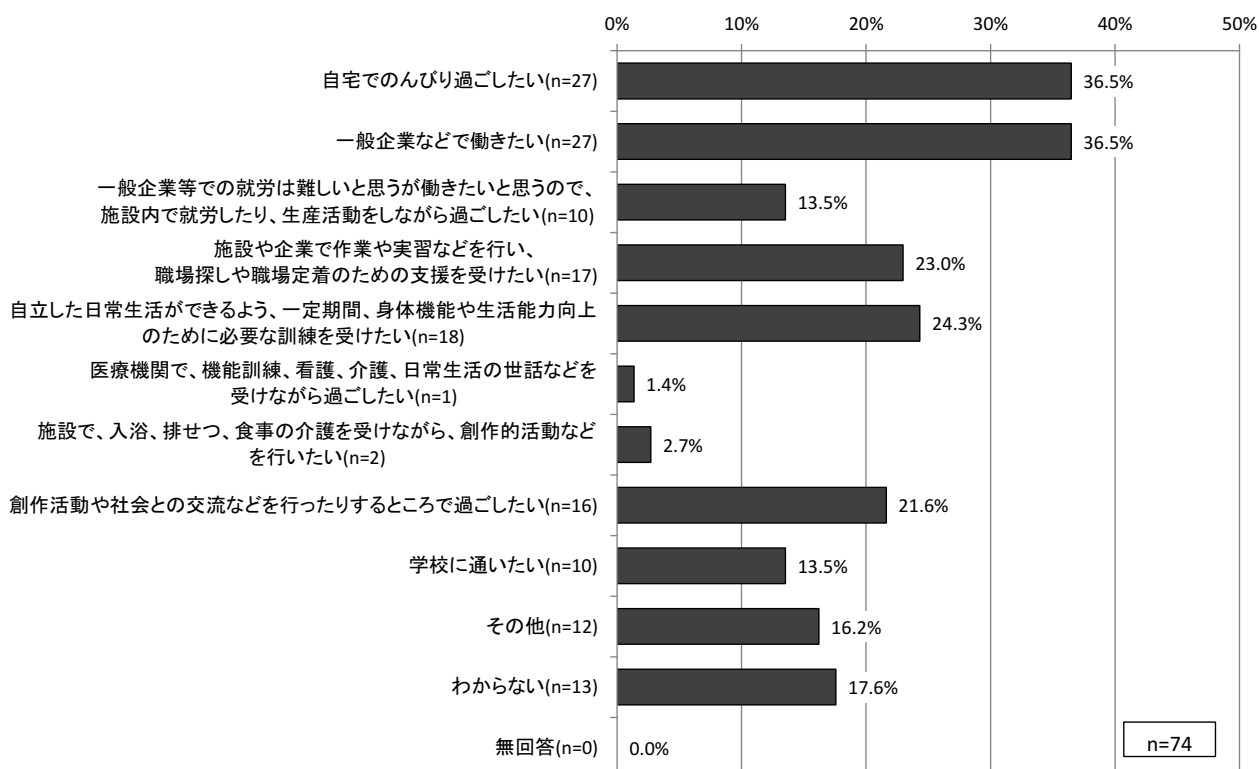
また、「今までそのようなことはなかったので、よくわからない」は25.6%となっています。



《 将 来 の 希 望 等 に つ い て 》

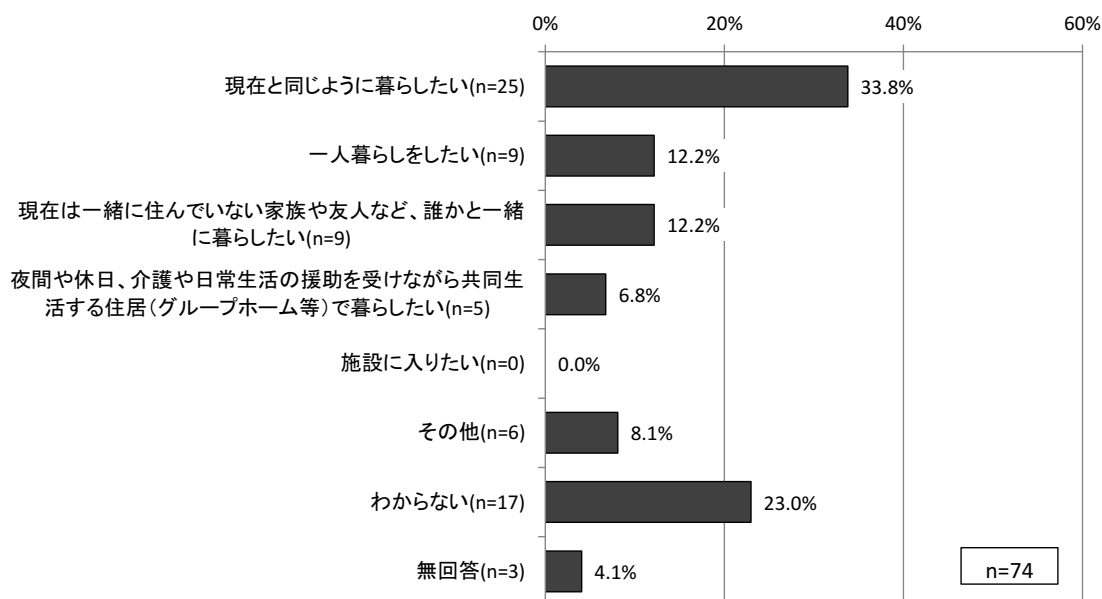
問16 今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

今後の日中の過ごし方については、「自宅でのんびり過ごしたい」、「一般企業などで働きたい」がともに36.5%と最も多く、次いで「自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい」が24.3%となっています。



問17 将来(今後)、あなたはどのように暮らしたいと思いますか。(○は1つ)

将来(今後)については、「現在と同じように暮らしたい」が33.8%と最も多く、約3割の方が回答しています。

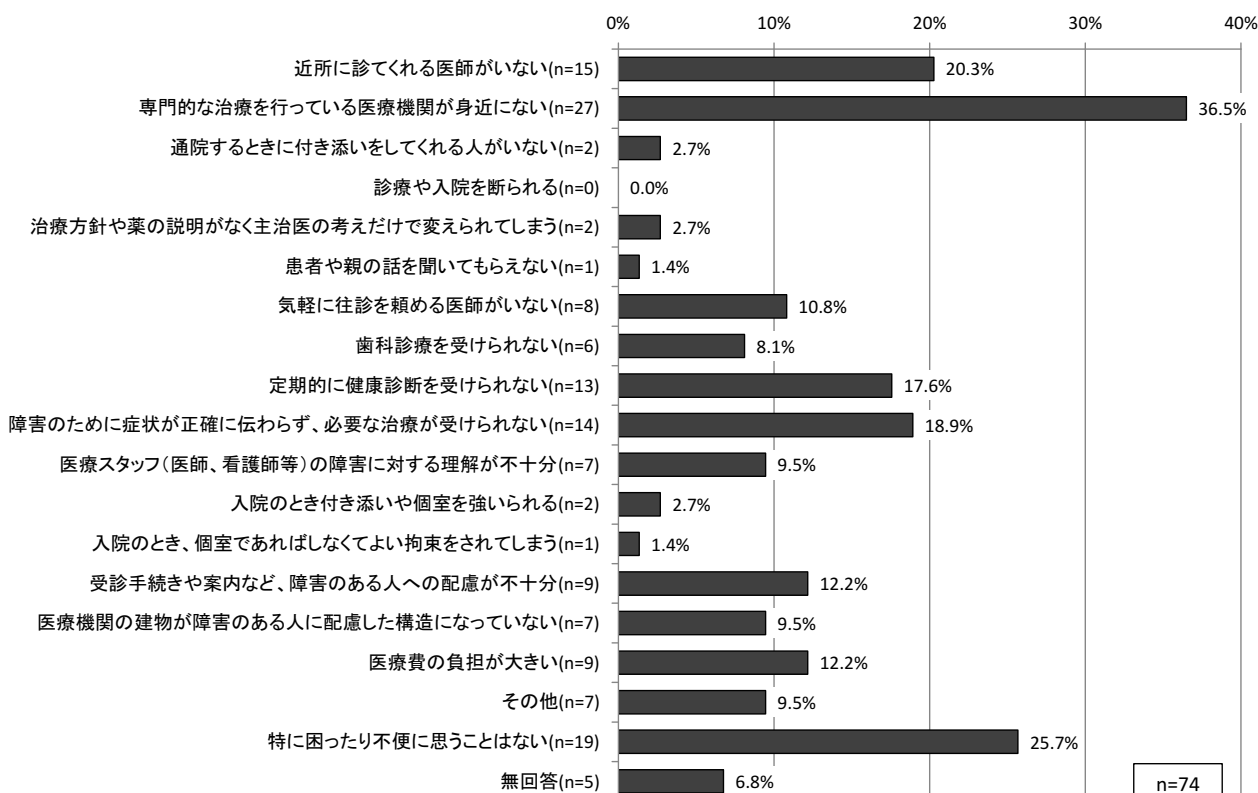


《 健康状態や医療について 》

問18 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。(○はいくつでも)

健康管理や医療について、困ったり不便に思うことについては、「専門的な治療を行っている医療機関が身近にない」が36.5%と最も高く、次いで「近所に診てくれる医師がいない」が20.3%となっています。

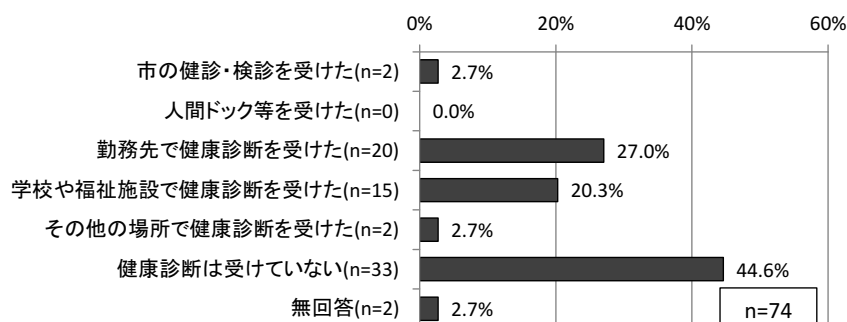
また、「特に困ったり不便に思うことはない」は25.7%となっています。



問19 過去1年間に健康診断(健康診査)を受けましたか。(○は1つ)

過去1年間の健康診断(健康診査)の受診については、「勤務先で健康診断を受けた」が27.0%と最も高く、次いで「学校や福祉施設で健康診断を受けた」が20.3%となっています。

また、「健康診断は受けていない」は44.6%となっています。

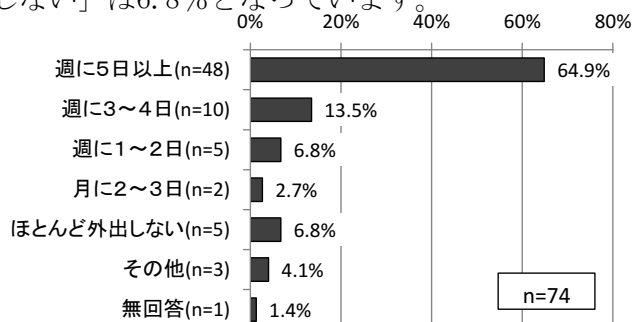


《 外 出 や 余 暇 の 過 ぎ し 方 に つ い て 》

問20 あなたは、どのくらい外出しますか。通園、通学、通勤、通所、通院、買い物、日常の散歩等すべて含めてお答えください。(○は1つ)

外出の頻度については、「週に5日以上」が64.9%と最も高く、次いで「週に3~4日」が13.5%となっています。

また、「ほとんど外出しない」は6.8%となっています。



[ほとんど外出しない方におききします]

問21 外出をしない理由は何ですか。(○はいくつでも)

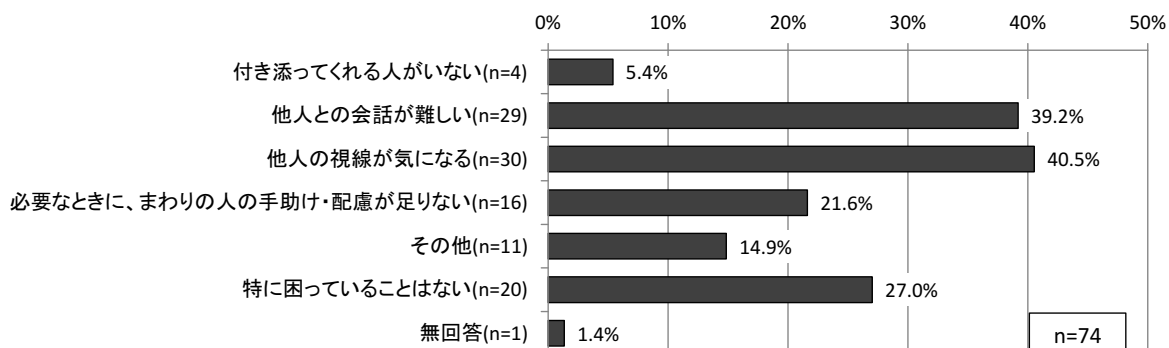
外出をしない理由については、「他人に見られるのがいやだ」が4件と最も多く、次いで、「人との会話が困難」、「外出するのがめんどろ」、「行き先がない」がともに3件となっています。



[ここからは、全員におききします]

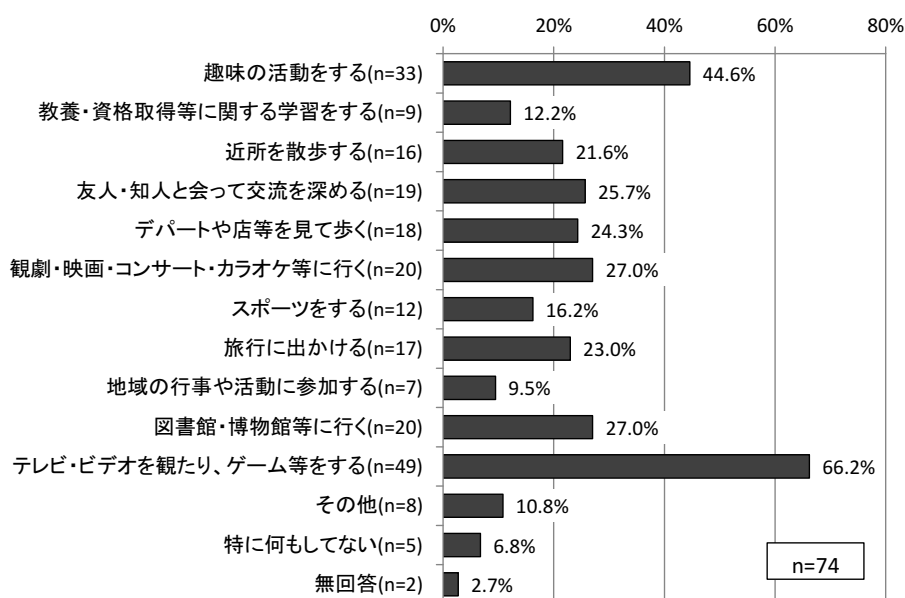
問22 外出の際に困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

外出の際に困っていることについては、「他人の視線が気になる」が40.5%と最も高く、次いで「他人との会話が難しい」が39.2%となっています。
また、「特に困っていることはない」は27.0%となっています。



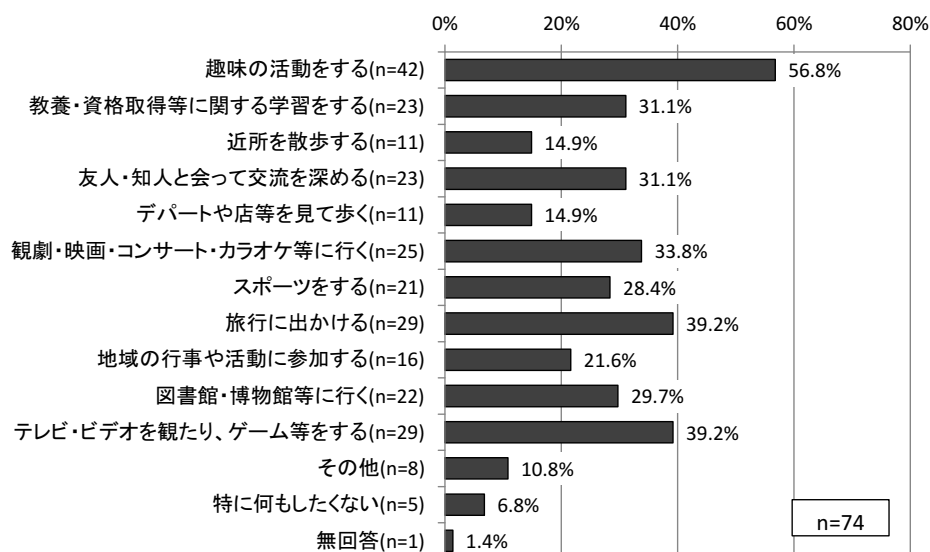
問23 どのような生涯学習活動や余暇活動をしていますか。(〇はいくつでも)

現在行っている生涯学習活動や余暇活動については、「テレビ・ビデオを観たり、ゲーム等をする」が66.2%と最も高く、次いで「趣味の活動をする」が44.6%となっています。



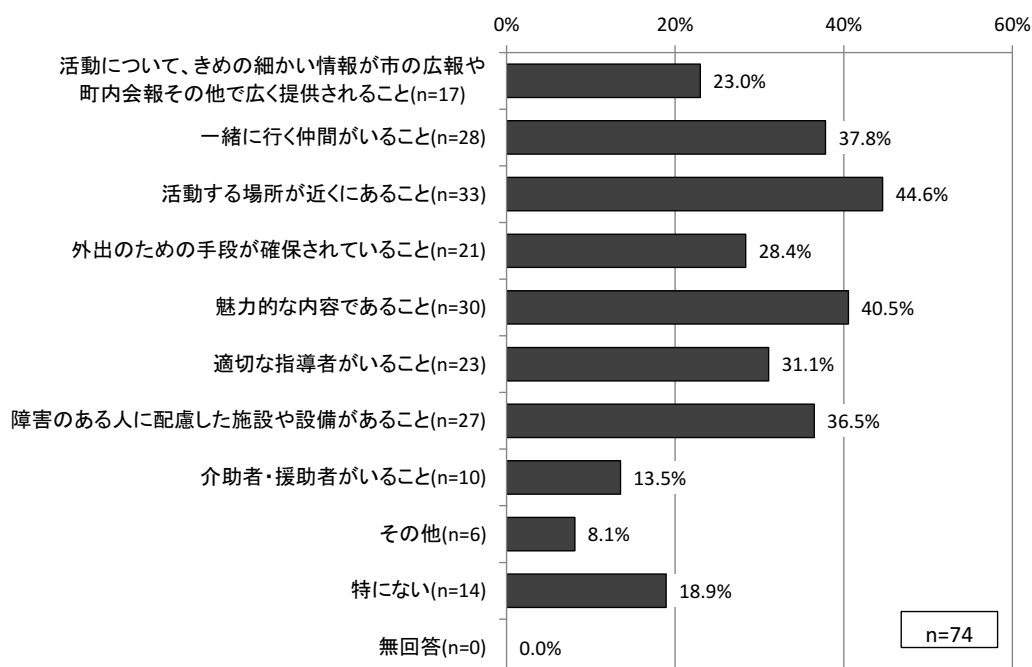
問24 今後、どのような生涯学習活動や余暇活動をしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

今後行いたい生涯学習活動や余暇活動については、「趣味の活動をする」が56.8%と最も高く、次いで「旅行に出かける」、「テレビ・ビデオを見たり、ゲーム等をする」がともに39.2%となっています。



問25 あなたは、問24のような活動をするために、どのような条件が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

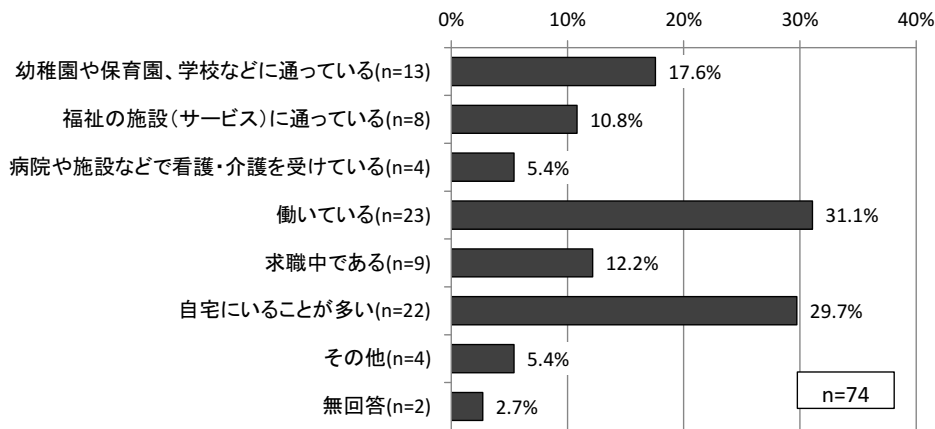
希望する活動を行うために必要な条件については、「活動する場所が近くにあること」が44.6%と最も高く、次いで「魅力的な内容であること」が40.5%、「一緒に行く仲間がいること」が37.8%となっています。



《 日 中 の 過 ぎ し 方 に つ い て 》

問26 あなたは、日中をどのように過ごしていますか。(利用しているものに○)

日中の過ごし方については、「働いている」が31.1%と約3割の方が回答しています。



《 幼 稚 園 や 保 育 園 、 学 校 の こ と な ど に つ い て 》

[幼稚園や保育園、学校などに通っている方におききします]

問27 通っているのは次のうちどれですか。(○は1つ)

幼稚園や保育園、学校などに通っている人の通園・通学先については、「小学校・中学校・高等学校」が9人と最も多くなっています。

n=13	幼稚園、保育園	小学校、中学校、高等学校	特別支援学校	専門学校・高等技術専門学校	短大・大学	その他	無回答
	0	9	3	0	0	1	0

※回答者数が少ないため表のみ掲載しています。

問28 幼稚園・学校などに通っていて困っていることはありますか。(○はいくつでも)

幼稚園や学校などで困ることについては、「授業についていけない」が5人と最も多く、次いで「通うのが大変」が4人となっています。

n=13	通うのがたいへん	授業についていけない	トイレ等の設備が不十分	校内・園内での介護が不十分	友だちができない	職員の理解が得られない	学校の数が少ない	児童・生徒の理解が得られない	受け入れてくれる学校がない	普通学級に入れない	家族の同伴を求められる	その他	特に困っていることはない	無回答
	4	5	3	0	3	2	1	0	0	3	1	1	3	0

※回答者数が少ないため表のみ掲載しています。

問29 将来、学校教育を修了後の希望を教えてください。(ご本人がまだわからない場合は保護者の方がお答えください。)(○は1つ)

学校教育終了後の希望については、「短大・大学・大学院に進学したい」、「就職したい」がともに3人と最も多くなっています。

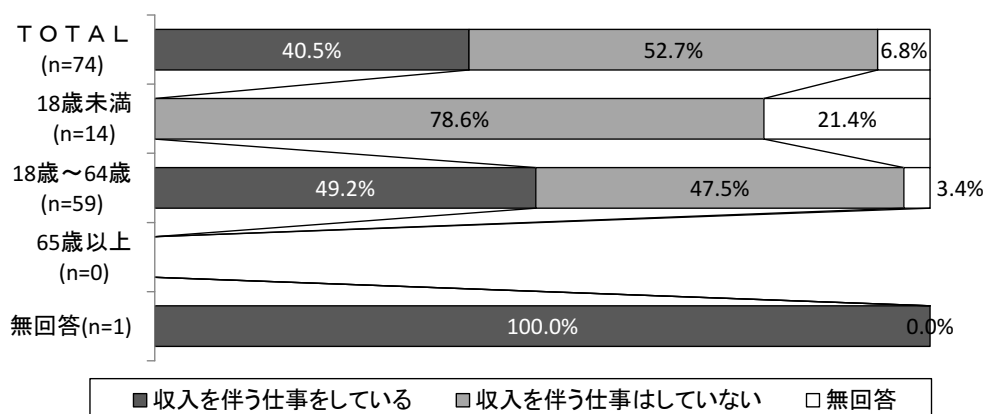
n=13	短大・大学・大学院に進学したい	専門学校・専修学校に進学したい	高等技術専門学校に進学したい	障害者施設に入所したい	障害者施設に通所したい	就職したい	その他	特に考えていない	無回答
	3	1	1	0	0	3	0	3	2

※回答者数が少ないため表のみ掲載しています。

《 雇 用 ・ 就 労 に つ い て 》

問30 現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)

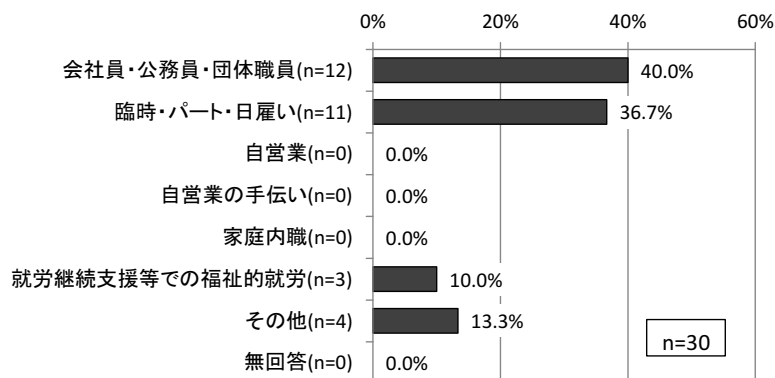
現在「収入を伴う仕事をしている」方は、40.5%となっています。



[収入を伴う仕事をしている人におききします]

問31 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

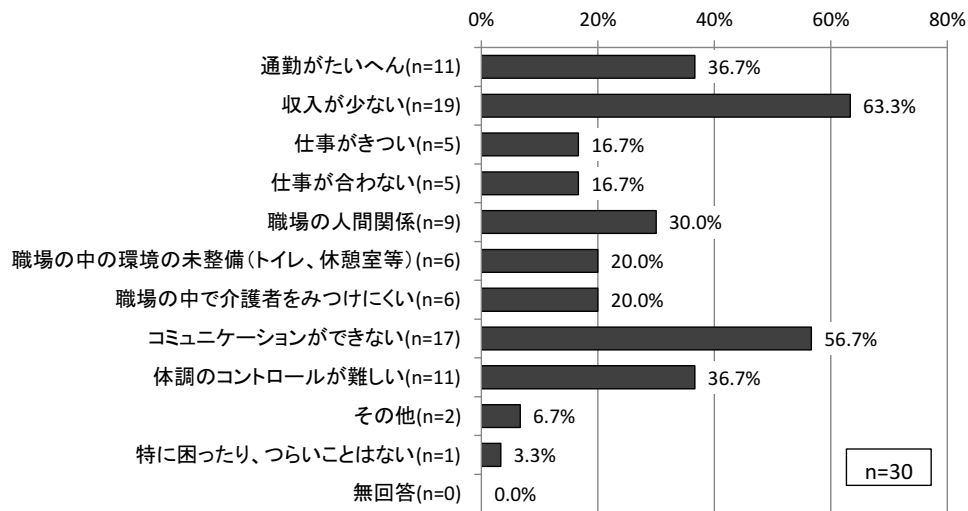
仕事の形態については、「会社員・公務員・団体職員」が40.0%と最も高く、次いで「臨時・パート・日雇い」が36.7%となっています。



問32 仕事をする上で困ったり、つらいことは主にどのようなことですか。(〇はいくつでも)

仕事をする上で困ったり、つらいことについては、「収入が少ない」が63.3%と最も高く、次いで「コミュニケーションができない」が56.7%となっています。

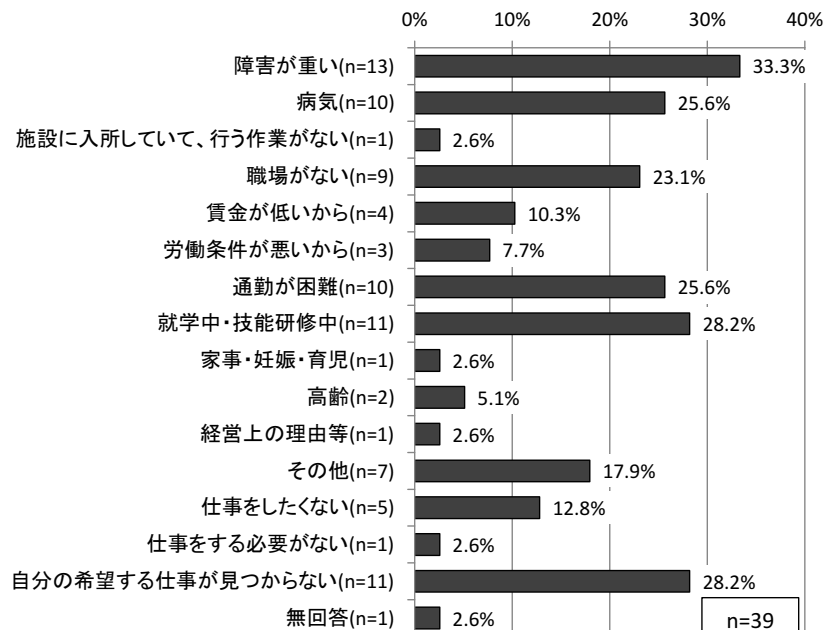
また、「特に困ったり、つらいことはない」は3.3%となっています。



[収入を伴う仕事をしていない方におききます]

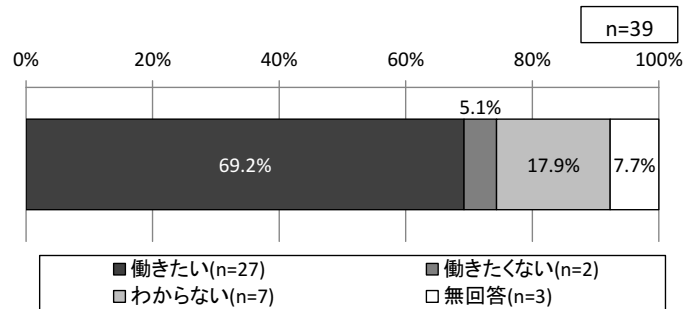
問33 仕事をしていない主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

仕事をしていない理由としては、「障害が重い」が33.3%と最も高く、次いで「就学中・技能研修中」、「自分の希望する仕事が見つからない」がともに28.2%となっています。



問34 今後、自分の健康や通勤の可能性等、条件が整っていれば働きたいと思いますか。
(○は1つ)

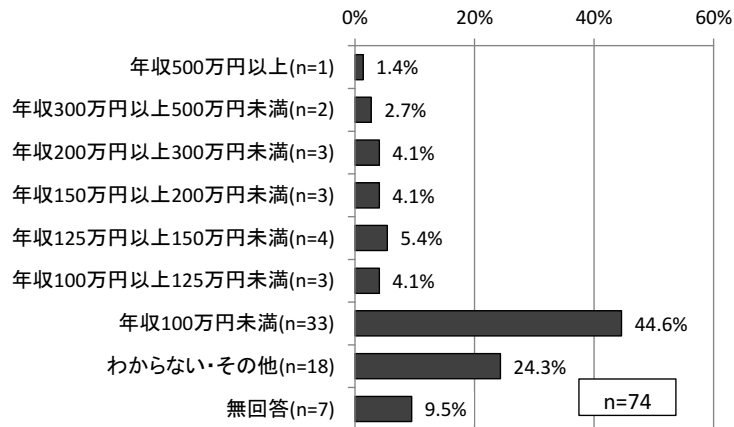
現在、収入を伴う仕事をしていない方のうち約7割の方は、条件を整えば「働きたい(69.2%)」と回答しています



[ここからは、全員におききします]

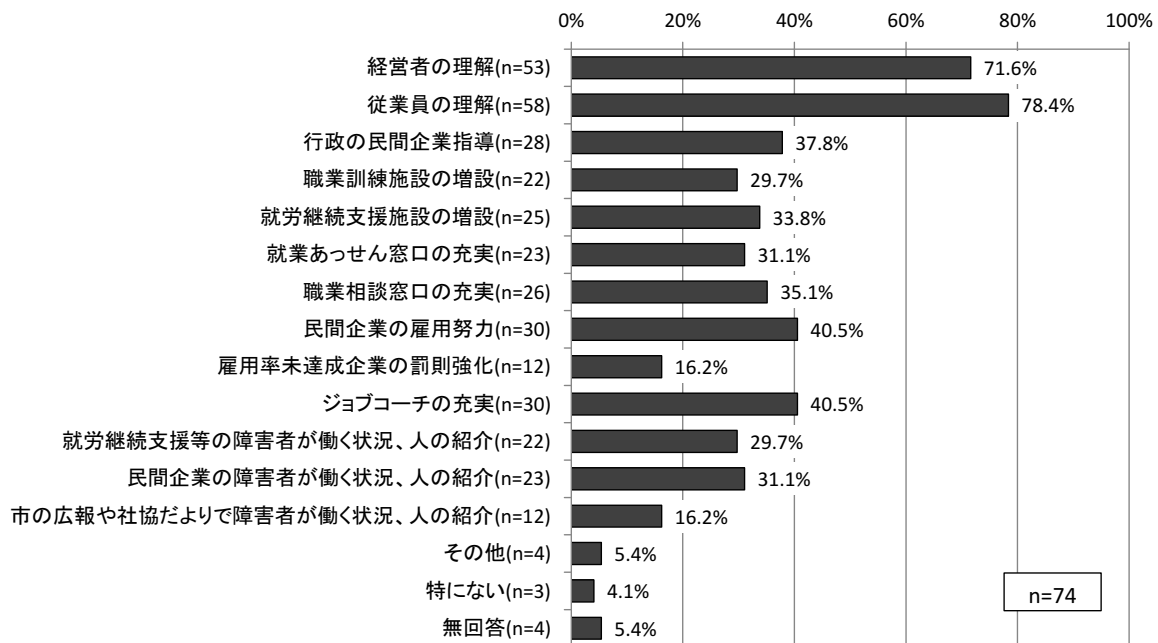
問35 あなたの昨年一年間の収入の額は、次のうちどれですか。(○は1つ)

昨年一年間の収入の額については、「年収100万円未満」が44.6%と最も高くなっています。また、「わからない、その他」は24.3%となっています。



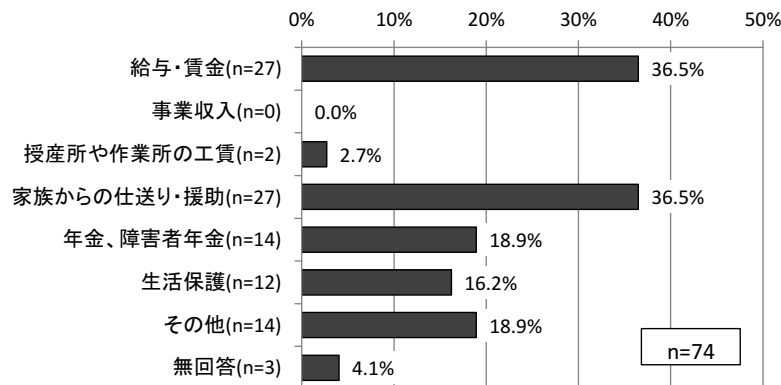
問36 障害のある人の就業を促進するために、あなたはどのようなことを希望されますか。
(〇はいくつでも)

障害のある人の就業促進のために希望することについては、「従業員の理解」が78.4%と最も高く、次いで「経営者の理解」が71.6%となっています



問37 現在、あなたの生活を支えている収入は次のうちどれですか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

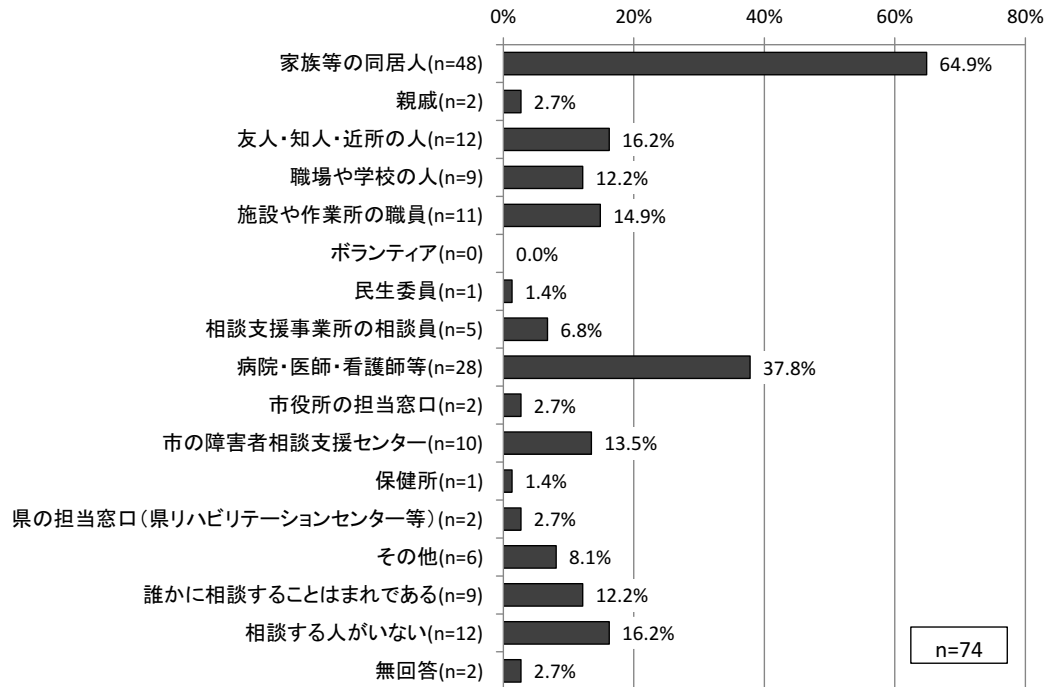
生活を支えている収入については、「給与・賃金」、「年金、障害者年金」がともに36.5%と最も高くなっています。



《 相 談 や 情 報 入 手 に つ い て 》

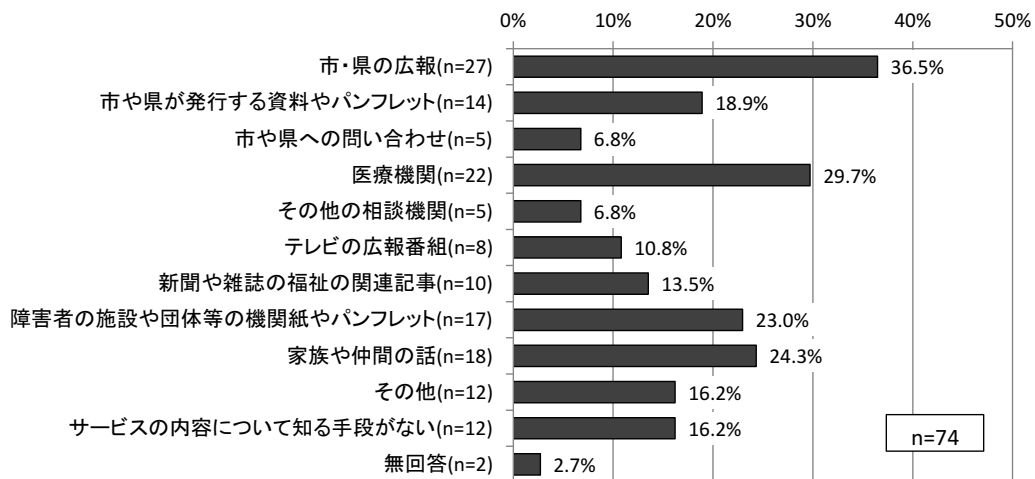
問38 普段、悩みや困ったことなどをどなたに相談しますか。(〇はいくつでも)

悩みや困ったことなどの相談先については、「家族等の同居人」が64.9%と最も高く、次いで「病院・医師・看護師等」が37.8%となっています。



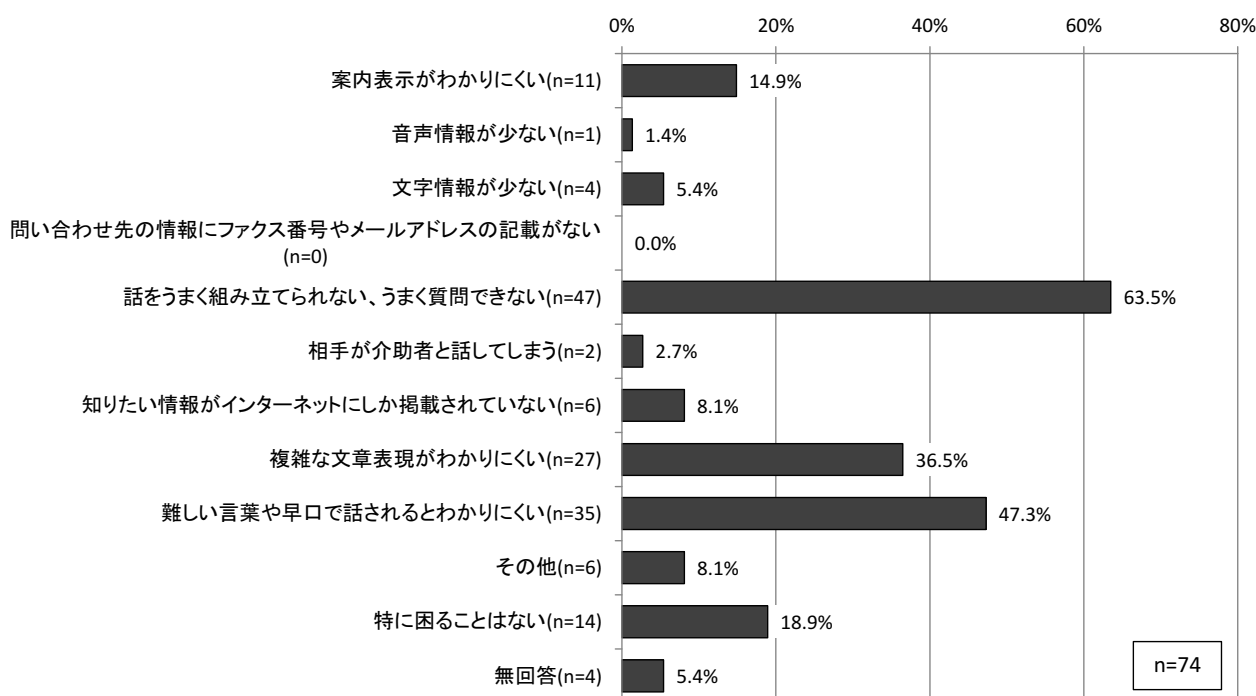
問39 障害のある人のための福祉サービス内容について、どのようなもので知ることが多いですか。(〇はいくつでも)

福祉サービス内容については、「市・県の広報」で知るが36.5%と最も高く、次いで「医療機関」が29.7%、「家族や仲間の話」が24.3%となっています。



問40 あなたは、情報を入力したり、コミュニケーションをとる上で困ることはありますか。
(○はいくつでも)

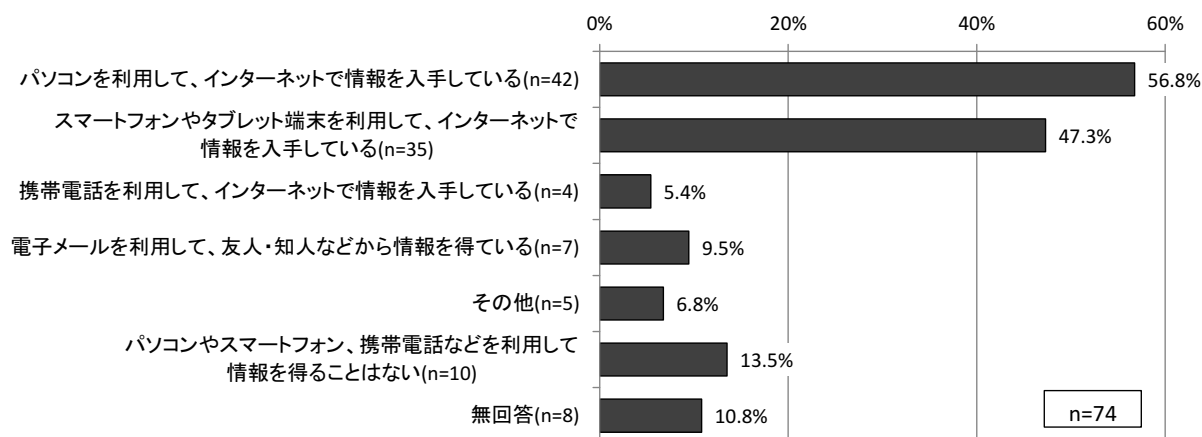
情報の入手やコミュニケーションで困ることについては、「話をうまく組み立てられない、うまく質問できない」が63.5%と最も高く、次いで「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」が47.3%となっています。



問41 あなたは、情報を入力するために、パソコンやスマートフォン、携帯電話などを利用していますか。(○はいくつでも)

情報の入手については、「パソコンを利用して、インターネットで情報を入力している」が56.8%と最も高く、次いで、「スマートフォンやタブレット端末を利用して、インターネットで情報を入力している」が47.3%となっています。

また、「パソコンやスマートフォン、携帯電話などを利用して情報を得ることはない」は13.5%となっています。

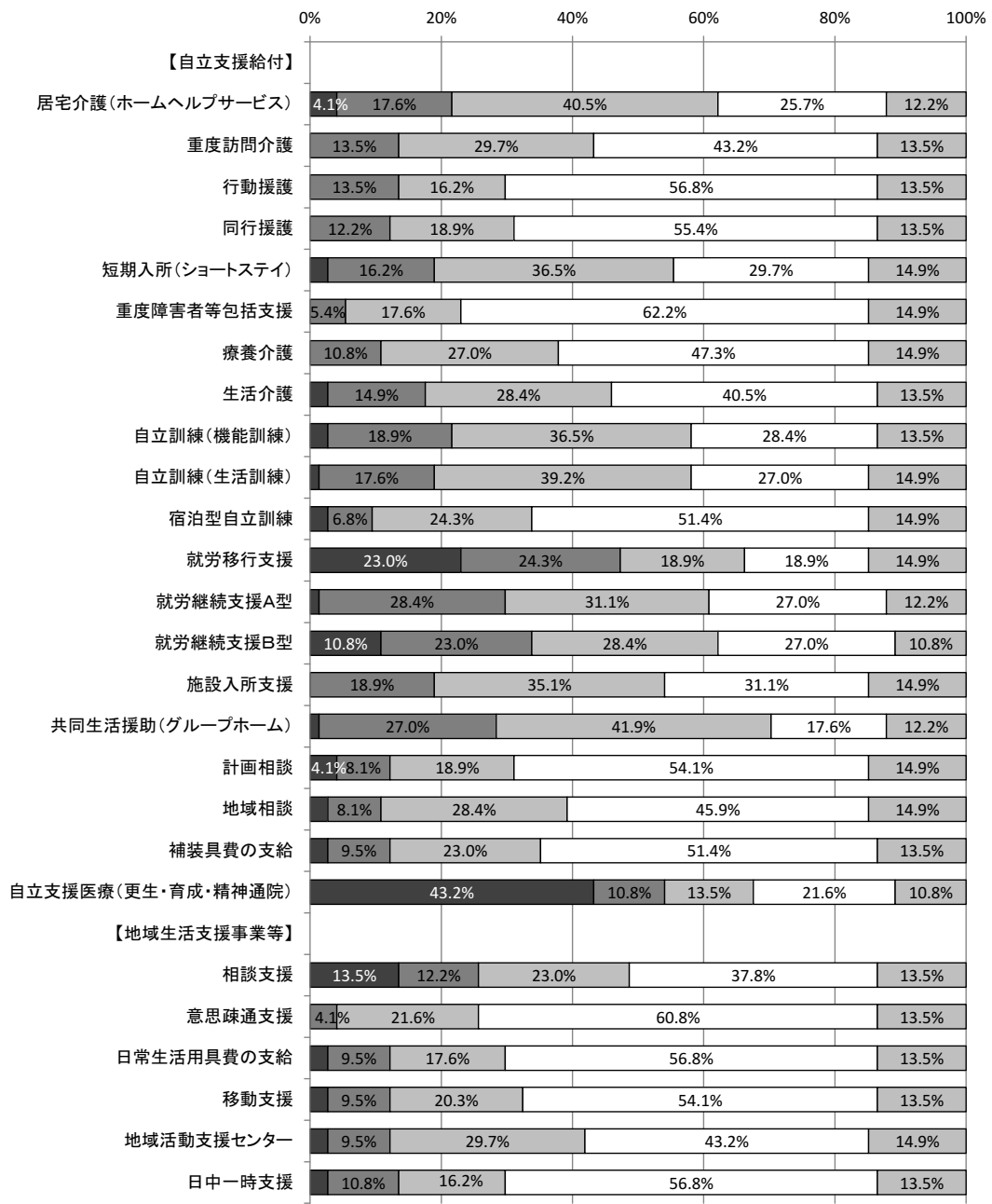


《 福 祉 サ ー ビ ス に つ い て 》

問42 あなたは、次のような福祉サービスを知っていますか。また、利用したことがありますか。
(○はいくつでも)

内容をわかっている、利用したことがある(利用していたことがある)人の割合が高いサービスは、「自立支援医療(更生・育成・精神通院)(43.2%)」、「就労移行支援(23.0%)」、「相談支援(13.5%)」となっています。

制度の名前を初めて聞いた人の割合が高いサービスは、「重度障害者等包括支援(62.2%)」、「意思疎通支援(60.8%)」となっています。



内容をわかっている、利用している(利用していたことがある)
 内容はわかっているが、利用したことはない
 制度の名前は聞いたことはあるが、内容はわからない
 制度の名前を初めて聞いた
 無回答

※横積み上げグラフの各項目の%は3%以上のもののみ表記しており、3%未満の回答については、次の表を参照ください。

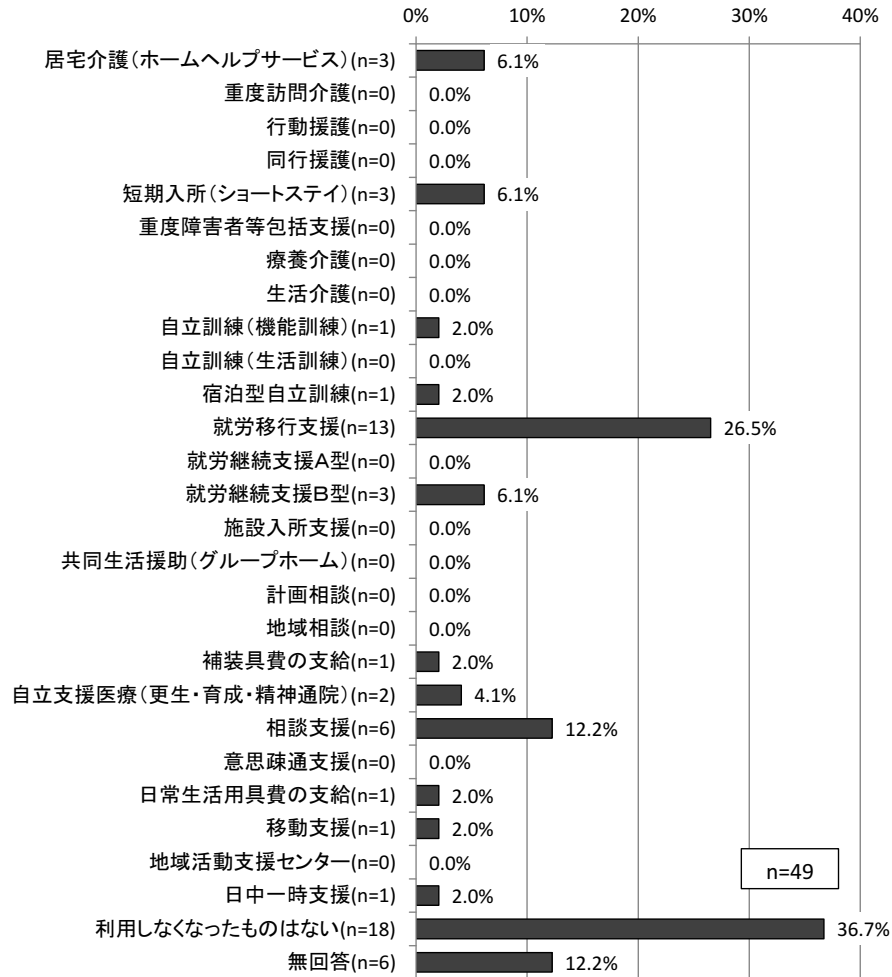
	n	内容をわかっていて、利用している(利用していたことがある)	内容はわかっていて、利用しているが、利用したことはない	制度の名前は聞いたことはあるが、内容はわからない	制度の名前を初めて聞いた	無回答	合計
【自立支援給付】							
居宅介護(ホームヘルプサービス)	74	4.1%	17.6%	40.5%	25.7%	12.2%	100.0%
重度訪問介護	74	0.0%	13.5%	29.7%	43.2%	13.5%	100.0%
行動援護	74	0.0%	13.5%	16.2%	56.8%	13.5%	100.0%
同行援護	74	0.0%	12.2%	18.9%	55.4%	13.5%	100.0%
短期入所(ショートステイ)	74	2.7%	16.2%	36.5%	29.7%	14.9%	100.0%
重度障害者等包括支援	74	0.0%	5.4%	17.6%	62.2%	14.9%	100.0%
療養介護	74	0.0%	10.8%	27.0%	47.3%	14.9%	100.0%
生活介護	74	2.7%	14.9%	28.4%	40.5%	13.5%	100.0%
自立訓練(機能訓練)	74	2.7%	18.9%	36.5%	28.4%	13.5%	100.0%
自立訓練(生活訓練)	74	1.4%	17.6%	39.2%	27.0%	14.9%	100.0%
宿泊型自立訓練	74	2.7%	6.8%	24.3%	51.4%	14.9%	100.0%
就労移行支援	74	23.0%	24.3%	18.9%	18.9%	14.9%	100.0%
就労継続支援A型	74	1.4%	28.4%	31.1%	27.0%	12.2%	100.0%
就労継続支援B型	74	10.8%	23.0%	28.4%	27.0%	10.8%	100.0%
施設入所支援	74	0.0%	18.9%	35.1%	31.1%	14.9%	100.0%
共同生活援助(グループホーム)	74	1.4%	27.0%	41.9%	17.6%	12.2%	100.0%
計画相談	74	4.1%	8.1%	18.9%	54.1%	14.9%	100.0%
地域相談	74	2.7%	8.1%	28.4%	45.9%	14.9%	100.0%
補装具費の支給	74	2.7%	9.5%	23.0%	51.4%	13.5%	100.0%
自立支援医療(更生・育成・精神通院)	74	43.2%	10.8%	13.5%	21.6%	10.8%	100.0%
【地域生活支援事業等】							
相談支援	74	13.5%	12.2%	23.0%	37.8%	13.5%	100.0%
意思疎通支援	74	0.0%	4.1%	21.6%	60.8%	13.5%	100.0%
日常生活用具費の支給	74	2.7%	9.5%	17.6%	56.8%	13.5%	100.0%
移動支援	74	2.7%	9.5%	20.3%	54.1%	13.5%	100.0%
地域活動支援センター	74	2.7%	9.5%	29.7%	43.2%	14.9%	100.0%
日中一時支援	74	2.7%	10.8%	16.2%	56.8%	13.5%	100.0%

[問42で「内容をわかっていて、利用している(利用していたことがある)」を1つ以上回答した方におききます]

問43 次のサービスの中で、以前は利用していたが、今は利用していないサービスはありますか。
(〇はいくつでも)

以前は利用していたが、今は利用していないサービスについては、「就労移行支援」が26.5%と最も高く、次いで「相談支援」が12.2%となっています。

また、「利用しなくなったものはない」は36.7%となっています。

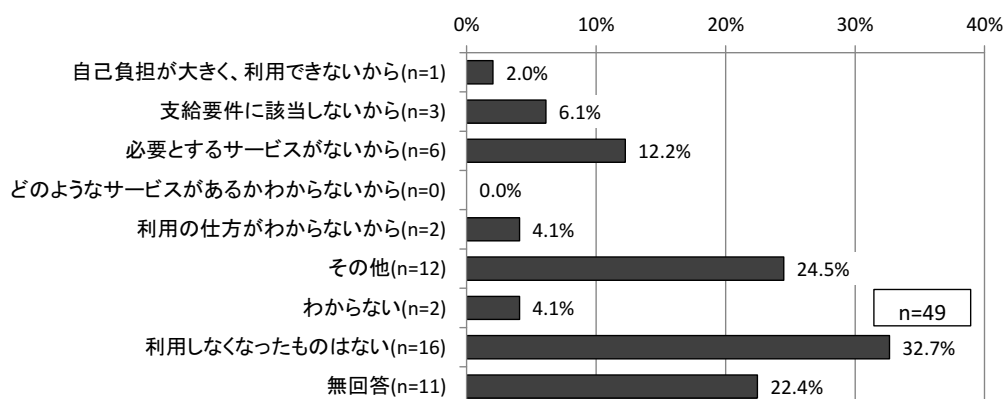


[問42で「内容をわかっている、利用している(利用していたことがある)」を1つ以上回答した方におききます]

問44 サービスを利用しなくなった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

サービスを利用しなくなった理由については、「必要とするサービスがないから」が12.2%と最も高くなっています。

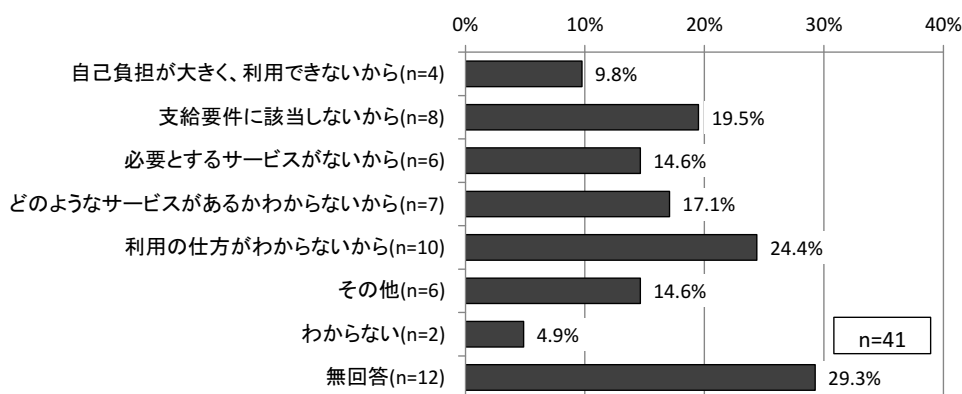
また、「利用しなくなったものはない」は32.7%となっています。



[問42で「内容はわかっているが、利用したことはない」を1つ以上回答した方におききます]

問45 サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

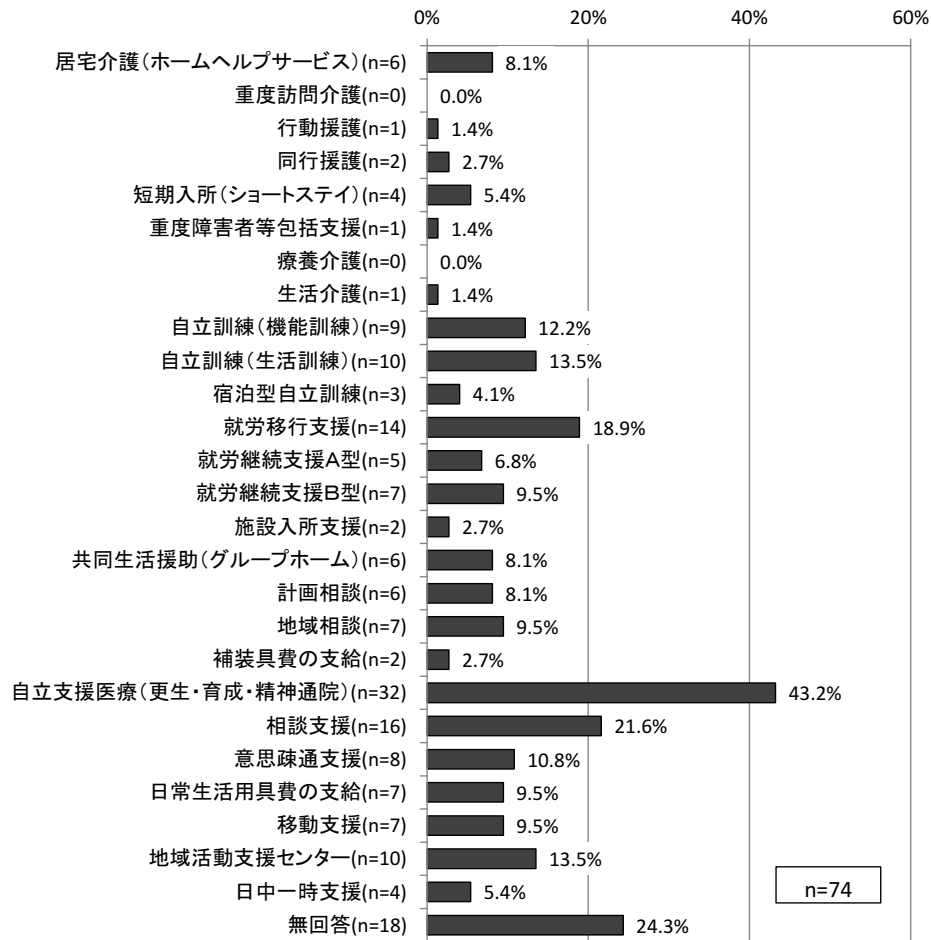
サービスを利用していない理由については、「利用の仕方がわからないから」が24.4%と最も高く、次いで「支給要件に該当しないから」が19.5%となっています。



[ここからは、全員におききします]

問46 次のサービスの中で、今後も引き続き利用したい、あるいは、新たに利用したいと思うサービスはありますか。利用したいものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

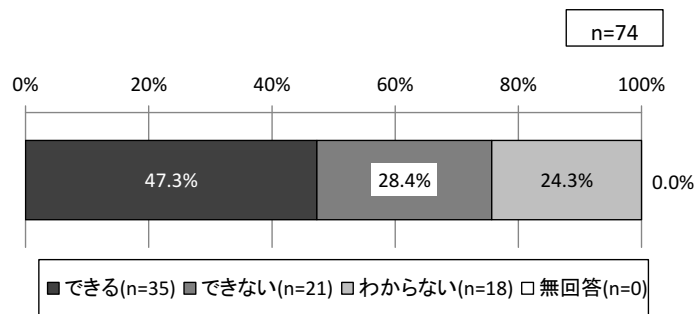
利用したいと考えている人の割合が最も高いサービスについては、「自立支援医療(更生・育成・精神通院)」が43.2%と最も高く、次いで「相談支援」が21.6%、「就労移行支援」が18.9%となっています。



《 災 害 等 に つ い て 》

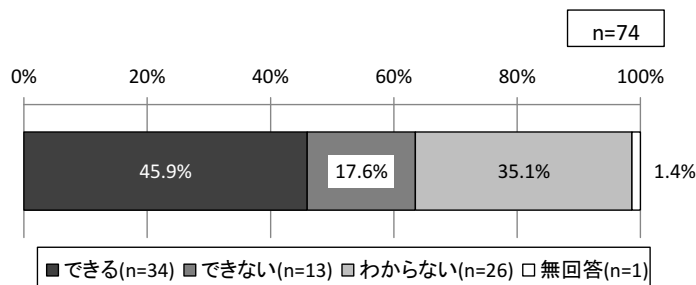
問47 火事や地震等の災害時に、あなたは一人で避難できますか。(○は1つ)

災害時の避難については、一人で避難が「できる」が47.3%、「できない」が28.4%となっています。



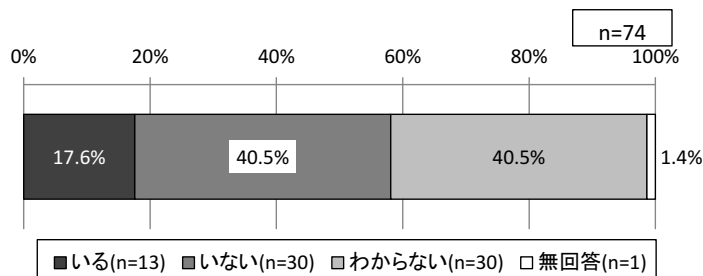
問48 火事等の非常時に、あなたは周囲の人に知らせることができますか。(○は1つ)

非常時に周囲に知らせることが「できる」が45.9%、「できない」が17.6%となっています。



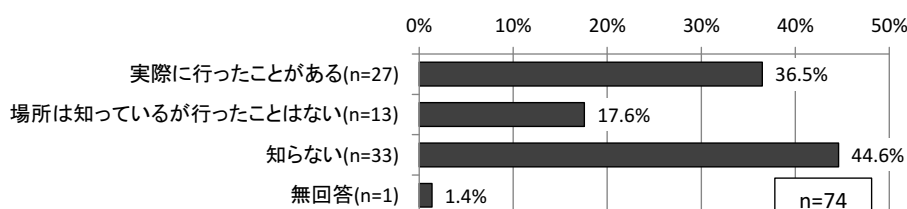
問49 家族が不在の場合または一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる方はいますか。(○は1つ)

近所に助けてくれる人が「いる」が17.6%、「いない」が40.5%となっています。



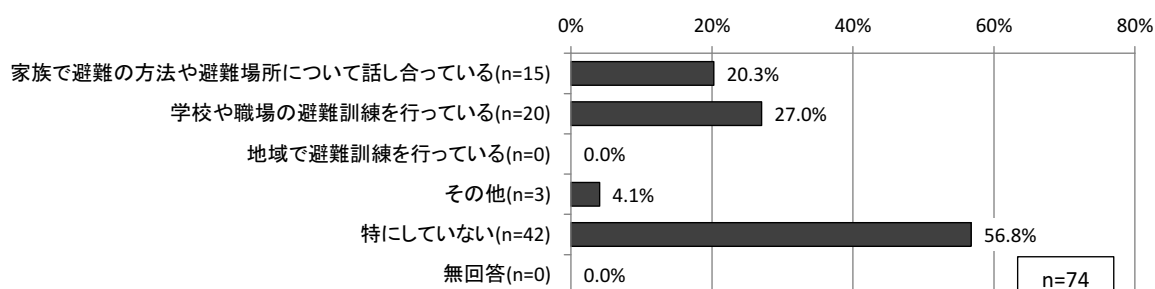
問50 お住まいの周辺の災害時の避難場所を知っていますか。(○は1つ)

災害時の避難場所については、「実際に行ったことがある」が36.5%、「場所は知っているが行ったことはない」が17.6%、「知らない」が44.6%となっています。



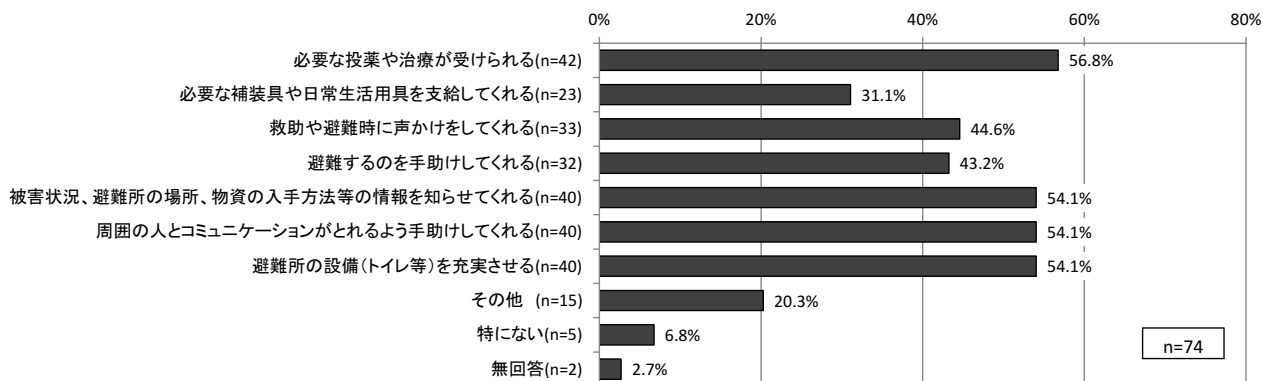
問51 災害時の避難について、以下のようなことをしていますか。(○はいくつでも)

災害時の避難については、「学校や職場の避難訓練を行っている」が27.0%と最も高くなっています。また、「特に何もしていない」は56.8%となっています。



問52 災害時にどのような支援・援助があるとよいと思いますか。(〇はいくつでも)

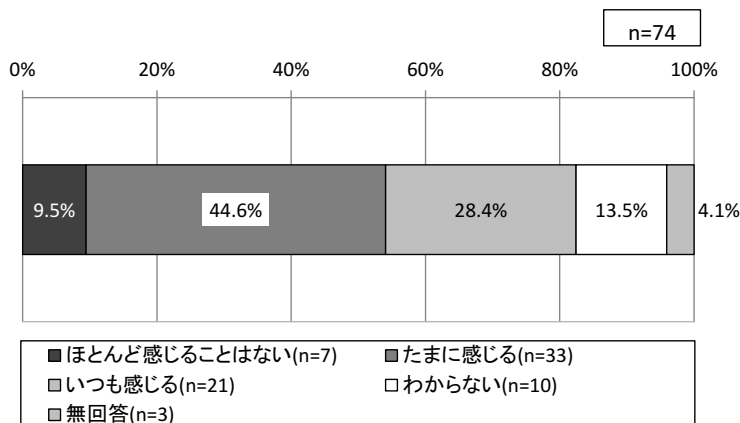
災害時にあるとよいと思う支援・援助については、「必要な投薬や治療が受けられる」が56.8%と最も高くなっています。



《 差別や疎外感について 》

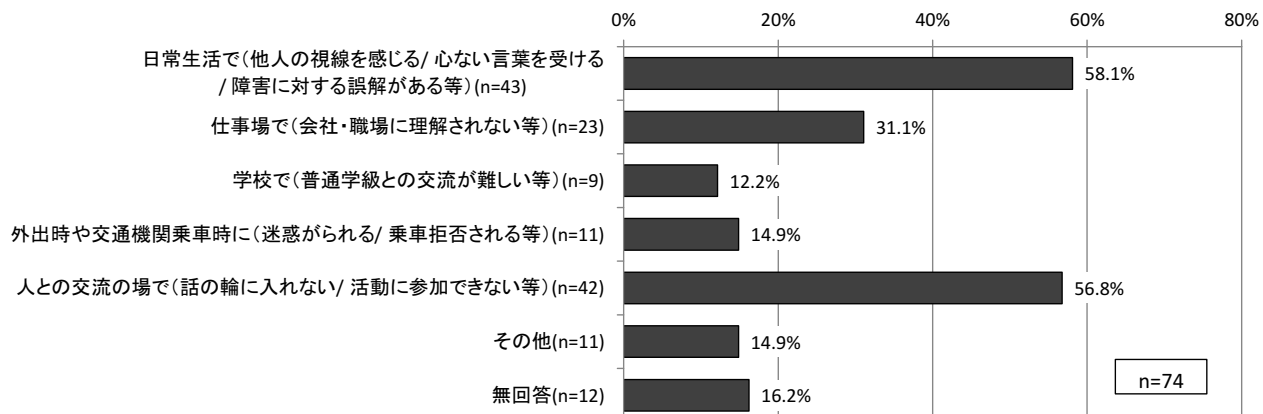
問53 障害があることで、差別や疎外感を感じるがありますか。(〇は1つ)

障害があることで、差別や疎外感については、「ほとんど感じることはない」が9.5%、「たまに感じる」が44.6%、「いつも感じる」が28.4%となっています。



問54 具体的には、どのようなときに、差別や疎外感を感じますか。(〇はいくつでも)

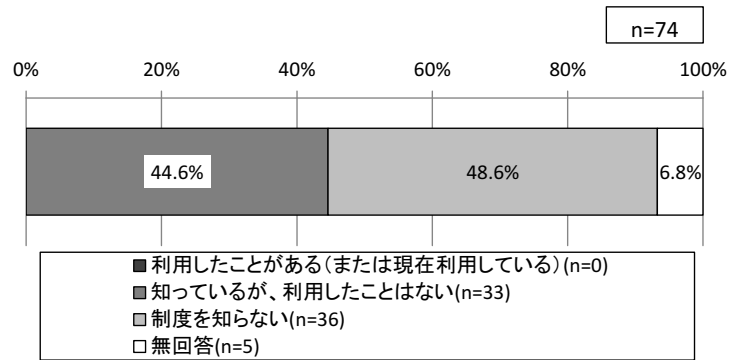
どのような時に差別や疎外感を感じるかについては、「日常生活で(他人の視線を感じる/心ない言葉を受ける/障害に対する誤解がある等)」が58.1%と最も高く、次いで「人との交流の場で(話の輪に入れにくい/活動に参加できない等)」が56.8%となっています。



《 成 年 後 見 制 度 に つ い て 》

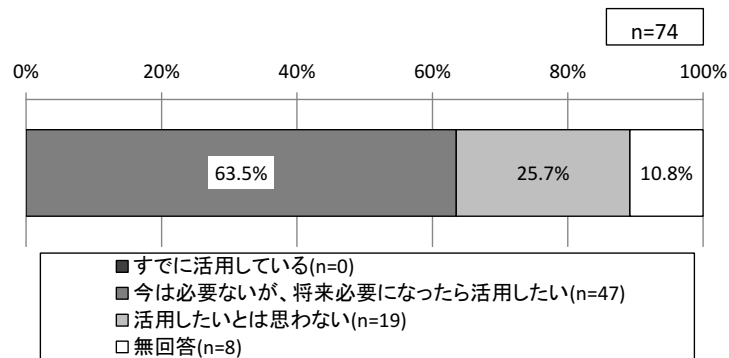
問55 「成年後見制度」とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。
(○は1つ)

成年後見制度については、「制度を知らない」が48.6%と最も高くなっており、次いで「知っているが、利用したことはない」が44.6%となっています



問56 あなたは、「成年後見制度」を活用したいと思いますか。(○は1つ)

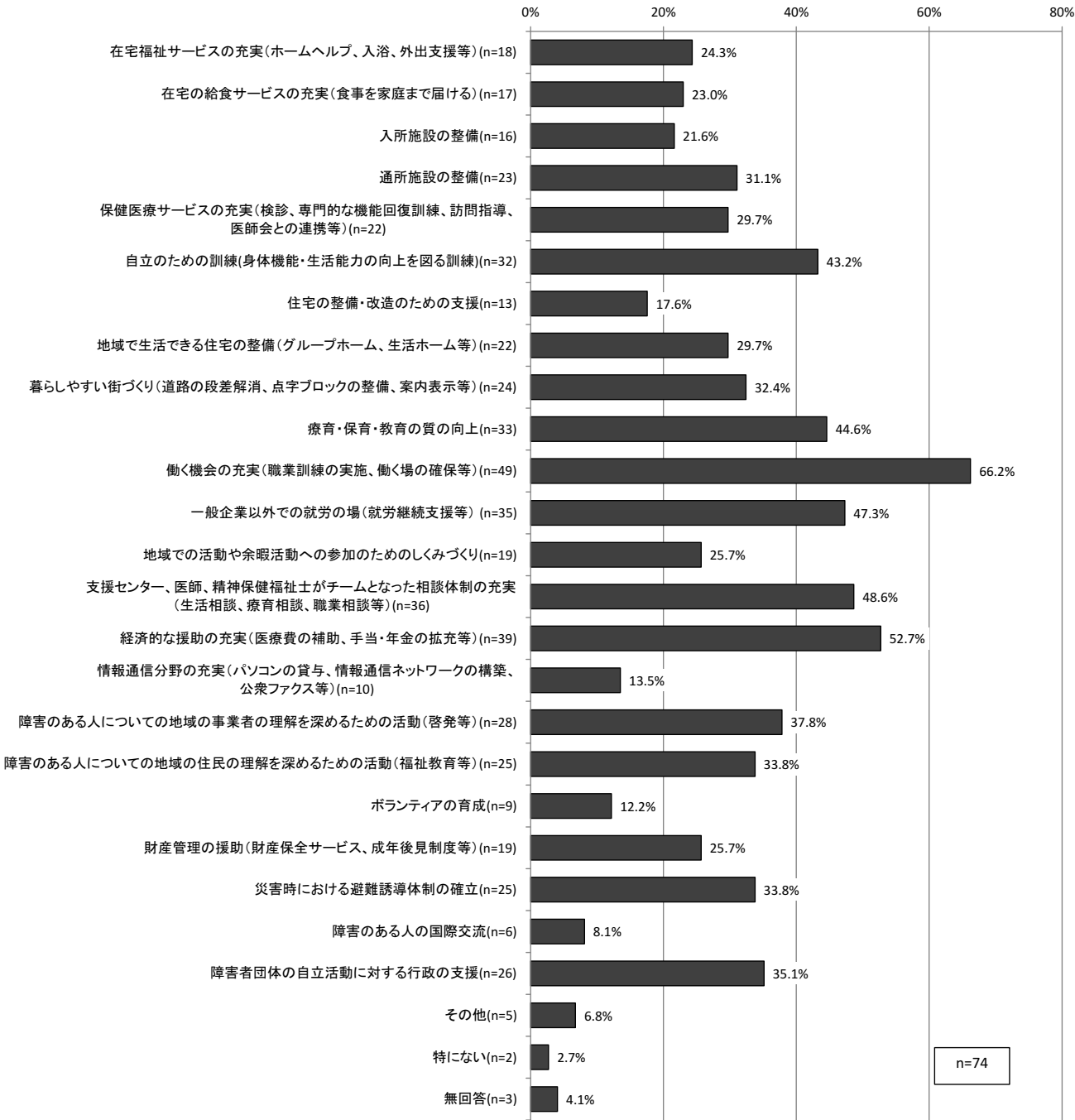
成年後見制度を活用したいかについては、「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」が63.5%と最も高くなっており、次いで「活用したいとは思わない」が25.7%となっています



《 市 の 取 り 組 み 等 に つ い て 》

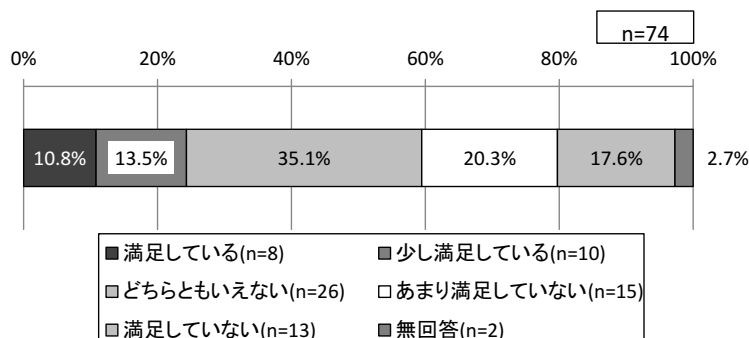
問57 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(〇はいくつでも)

市が充実させていくべきことについては、「働く機会の充実（職業訓練の実施、働く場の確保等）」が66.2%と最も高く、次いで「経済的な援助の充実（医療費の補助、手当・年金の拡充等）」が52.7%、「支援センター、医師、精神保健福祉士がチームとなった相談体制の充実（生活相談、療育相談、職業相談等）」が48.6%となっています。



問 58 川越市の福祉サービス全般について、満足していますか。(○は1つ)

川越市の福祉サービス全般については、「満足している(満足している+少し満足している)」が24.3%となっています。また、「満足していない(あまり満足していない+満足していない)」は37.9%となっています。



最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望、計画に盛り込みたいことなどがありましたら、自由にお書きください。

【差別解消及び権利擁護について】

- 発達障害が生きづらい世の中なのを発信していきたい。なぜ川越は発達障害に対して生活サポート事業に使えるようにしないのか？予算の関係とかあるのだろうが人助けに予算がどうこうなんておかしい気がする。(30代)
- もっと障害者の理解を周りに周知させてグループホーム職場の福祉作業所の職員、他の仲間にも理解してもらいたい。障害者にも普通の健常者と同じ経済面など選べる暮らし、日本国憲法、法れいで保障されている権利を尊重し、改善してほしい。(20代)
- 発達障害のおかげで警察のお世話となり警察に迫害されています。障害を持っているだけで警察に疑われる生活から抜け出したいです。川越警察署へ是正指導をお願いします。(20代)
- 障害者に対する制度や施設を充実させるのも悪くないと思いますが発達障害に対する理解が十分とは言えず、逆に偏見や差別的な意識が根強く残っている感じがします。発達障害に対する正しい知識と適切な対応を普及してもらえると有り難いです。(30代)

【保健・医療サービスについて】

- 埼玉県にも発達障害を診てくれる専門医の配置を望みます。(30代)

【教育について】

- 特性上、集団生活がストレスになり、適応出来ない為、不登校になりやすく不適應を起こし、日常の学習の積み重ねがないまま、学校を終了してしまう子供もいると思われまので、つまづいた時点でのフォローアップが重要だと思います。挫折経験を繰り返す事によって精神面の混乱を引き起こし、精神症状が悪化する為地域で受け皿もないまま、引きこもりになり処遇困難におちいらぬ為、他市のように障害児、者等療育支援事業の設置を強く要望します。所沢市のように保健センターに発達障害児、者の家族の集いを継続的に要望します。家族が孤立せず、いつでも必要な時に繋がる居場所が必要だと思います。場をセッティングする事で自助グループが出来たり、自然に輪が広がっていくことを望んでおります。(10代)
- どんな福祉サービスがあるかわからないので冊子を配ってほしいです。ホームページで当事者以外の人も見ることができるようにしてほしいです。将来、特別支援学校の高等部を卒業したら、勉強をする場所がありません。学習だけでなく、社会性もなかなか身につかない障害がありながら、18歳で社会に出なければならないのは、とても大変です。障害者であっても学ぶ気持ちのある人には学ぶ場所があると将来への選択肢が広がると思います。特別支援学校大学部、専門部や今ある大学の特別支援学部に進学することができるようになれば通うことができ、夢で終わりません。(10代)

- 小学校①下校の時間がバラバラがやだ。②教室いどうがやだ。③着替えがやだ。(体操着、白衣)④習字のすみのにおいがへん。⑤音楽がついていけないし、音がでかくてへん。⑥6がやだ。(5時間授業だったり、6時間授業だったり下校時間が毎日決まった時間ではないのが苦痛のようです。)中学校①制服を着るのがやだ。②ジャージ、体操着着るのやだ。(10代)

【雇用・就労について】

- 難しかった。就労支援を個人支援にしてほしい。(人とのコミュニケーションが取れないから)(20代)
- 発達障害の専門員のジョブコーチの増設(20代)
- 求職の際に思うのは、発達障害に対する企業の理解や環境の整備がまだまだ不十分であるという点です。身体障害や知的障害など、外からわかる障害と違い、発達障害は見た目で見ることがほとんどで、なかなか理解してもらえないことが多いです。会社側の理解やもう少し求人を出してくれてもいいのと思います。(30代)
- 私は作文の文章能力がありません。会社の面接を何度も落ちています。うまく話したつもりでも相手に伝わりません。(20代)
- 障害者職業センターで就労支援は行われていますが、本人は、決まった時間に支度して通勤する事が困難です。そのうえ、コミュニケーションが苦手で、一つ気にかかる事が生じるとそれから先に進めない。人がたくさんいるところは苦手で、就労は困難です。出来れば公的機関で在宅仕事を斡旋してもらいたい。PCがあるので在宅でイラスト、ポスターを作成する仕事がしたい。(30代)
- 私のように年齢もまた離就して時間が経ってしまうと「なかなか良い条件での就職が難しい現状です」やはり就職する当たり「何らかの資格がないと普通の健常者の同じ年齢より、より「不利」になります」まずはどの職種にも関連する「パソコン講座(ワード、エクセル、パワーポイント等)の資格取得の講座」や場合によっては「フォークリフト免許講座」とか、障害の程度に合わせた講座を設ける事で就職が出来、自立して、ひいては「障害者支援への予算削減」につながるかもしれません。(40代)

【社会参加について】

- 今年からオアシスのバトミン教室と水遊び教室に参加させて頂きました。バトミン教室はとても楽しく参加させて頂き、ボランティアの方もたくさんいて母も安心してお願いすることができました。水遊び教室も子供1人にボランティアの方が1名ついて下さり、とてもありがたかったです。オアシスでの水遊び教室は障害への理解があるので、安心してお願いすることができます。今後もぜひオアシスでの色々な教室へ参加したいです。子供よりドッチボール教室があったらいいなと言っていました。協調運動が苦手なので縄跳びや跳び箱、ボール遊びの教室があると嬉しいです。(10歳未満)
- 就労以前に社会参加をせめてできるようデイケアに通いたい。または若者も通えるような行きたいときに自由に行ける居場所があるとありがたい。(20代)

【住みよいまちづくりについて】

- 川越市は周辺の市町村と比較すると障害者福祉の環境がとても遅れていると感じています。施設の充実などまだまだだと思います。それから専門的な人材なども少ないと思います。どうか少しでも市内の方々の声が反映されて障害者にとっても住み良い市でいて頂きたいです。(10歳未満)
- 障害者施設のセキュリティーの強化の要望します。(20代)
- 災害時私たちはどこに避難したらいいのかわかりません。たとえついたらをつけてくれても物音人の気配のある中では生活できません。食糧をうけることも困難であると思います。障害は身体(特に四肢)だけではなく、知的や精神(発達)は人と一緒に生活はできません。今一番心配なのは、就労や自立より、避難所です。(20代)

【福祉サービスの充実について】

- 子供の発達障害者の支援はある(多い)のに成人が対象のものが少ないので、成人への支援をして欲しい。生活支援、後見制度、場合によっては生活保護を受けられるようにして欲しい。普段からそれについて話せたり、もしもの場合にすぐ助けて頂ける登録制度が欲しい。後見制度や発達障害対象の生活保護、障害者枠の就労をもっと増やして欲しい。(30代)

- 更新を一回でも行えば再度、手帳などの更新をしなくてもよくしてほしい。それは病気ではなく生まれ持った障害だからです。経済的、時間的、労力的にとっても負担です。これから一人でこれらの手続き(親がいなくなった時など)ができるのか不安です。(30代)
- 川越市にも障害児・者等療育支援事業の設置を強く要望いたします。所沢市のように保健センターに発達障害児・者の家族の集いを継続的に要望します。家族が孤立せずいつでも必要な時に繋がれる居場所が必要だと思います。場をセッティングする事で自助グループが出来たり、自然に輪が広がっていく事を望んでおります。(20代)
- 発達障害の専門相談員が市役所にほしいです。(20代)
- 本人の意向を考えながら、また本人に聞いて母が記入しました。・親亡きあとの生活の安定の為、障害基礎年金の増額を要望します。 ・親亡きあとの生活がスムーズ、平穩に出来るように介護給付を受けたい。(30代)
- 障害者年金をもらいたいと思うが、それが正しいことなのかわからない。体は元気だが、精神の不調のため働けないので本人に収入はない。今は親に収入はあるが、この先を考えて、障害者年金をもらい始めたいと考えてよいのか…。手帳更新の時などに詳しく教えてほしい。(20代)
- 何をしたら良いかわからなくなった時に教えてくれる人が身近にいたら良いと思います。また電話でいろいろとわかりやすく教えてくれるところがあったら良いと思います。(50代)
- 資格取得できる講座、訓練を障害者専用開設し、その情報を伝達して頂きたい。訓練、資格講座、就労に関する情報が、市、ハローワーク、支援センター等「バラバラ」で、その情報を得る為に「自分でいちいち一カ所にアクセスするのは時間がかかり、また情報の伝達が遅くなってしまい、せっかくの機会を逃してしまう事があります。是非「各箇所の情報を共有化し、一元化を図って頂き、その情報を一括して知らせたい。(冊子やFAX、チラシのような物で郵送して頂くとか)。(40代)
- 1人1人「障害者」といえでも「程度、レベル」が違うので、対応するのも「大変」だと思いますが、逆に「障害者と一括りする」事で「障害者の自立を阻む形になっていないか？」とも思う所もありますので、是非「こと細かい、きめ細かい対応、行動を求めたい」と思います。(40代)
- 片マヒは他の方々の理解がうすく、見た目にはわかりにくいので混雑時や電車でもホームでも常に危険です。悪意が無くても、押されて転ぶことが多く、ケガが絶えません。杖をもっていても多いのでマタニティマークのように理解の広まるバッジがあると助かります。(40代)

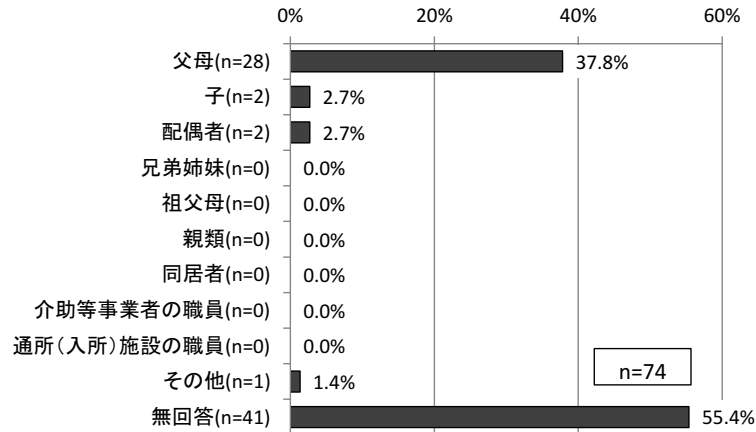
【その他】

- 今回のアンケートは3件届きました。(「発達障害」「精保手帳」「難病給付」)3つともほとんど同じ内容でした。全てメ切り日が同じでした。反映されるのだろうか、意味があるのだろうか(40代)
- 発達障害がいったいどういうものなのかを理解されないまま作成されたものだと感じた。問が多いし、文字は小さい、選択が多すぎる、項目が変わった場所でテーマに色をつけているが、それに気づきにくい。その他がほしいところにその他がない。何のためのアンケートなのだろう。(20代)
- 障害者福祉に関するアンケートは異常なくらい質問数が多すぎる。そこまでしつこく質問されている感じて不愉快にも感じる。質問数が多いということはそれだけ障害の人にストレスを与えていると感じる。(40代)
- 何をどう支援してもらいたいのか、自分自身(親)でもよくわかりません。(10代)
- 幼稚園、学校の先生方の対応だけでは無理があるので、行政でフォローが必要だと思います。保健センターなど知識の向上に努めていただきたいです。他の市(小さい町などは別として)と比べ遅れていると思います。就学してからも。情報交換や視察などしないのですか?川越市の事を話すと、そんな事もしていないの?など驚かれる事もよくあります。相談に行ったら様子見をしないで、どんどん療育をしていつている。それで本当に実に普通になって終わらせているという話をよく聞きます。連携が必要だと思います。障害を持つ、本人や家族の将来がかかっています。早期発見、療育がもっとできれば特別支援の必要な児童などが減ると思います。(10歳未満)
- ・本の代金を市の方で負担してほしい(書店における、特に数学、歴史、物理学、IT等の論文、専門書)ちなみに上記のことは趣味ではなく独学したい為である。 ・法人税を引き上げてほしいのである。(10%くらい上げていただければよろしいと思う所存。そしてなおかつ利子の底上げをしていただきたい。銀行の金利7%) ・ストレス低減として瞑想を取り入れていただきたいのであります。ヴィッパッサナー瞑想やヨーガ瞑想やマインドフルネス瞑想等があります。(20代)

ご家族や援助（介護や手助け）をされている方へ

あなたの立場（調査対象のご本人との関係）は次のうちどれですか。（○は1つ）

調査票対象者との関係については、「父母」が37.8%と最も高く、次いで「子」、「配偶者」がともに2.7%となっています。



毎日の援助の中で気づいた問題点や、市へのご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。

【差別解消及び権利擁護について】

- 発達障害とひとくくり言っても、人それぞれの症状があることを理解してもらいたい。一見健常者と同じように見えるので、なかなかわかってもらえないことが多くて困ってしまう。川越は相談してもそれはできないとか、できない理由を話すだけで前向きな提案が一切ない。（配偶者）
- まわりの方から理解されにくい障害のため、また本人は 40 代男性のため、お年寄りでもなく普通の人に見え、見えてしまうので、大変困ります。本人が特に気にしてるのが電車等で片マヒのため足を踏んだり、女性にさわったりしてたら、痴漢と思われるとかいう事です。話の会話も普通に感じるのですが、全て聞き取れているわけではないので、それを知らない人はまた困ります。何か相手が障害のある人だと思ってもらえるような表示がほしいです。（不明）
- 人とのコミュニケーションが苦手。できる事とできない事の差が激しく、特になまけている等、誤解を受けやすい。発達障害とはどんな方たちなのか、より普及していかないとまだまだ暮らしにくい社会であると思います。（GH 職員）
- ADHD 発達障害と診断されてから、市へ何か援助はないかと確認した所、基本的に知的障害の療育手帳がないと援助が受けられないようなので、がっかりしました。そして、発達障害の理解が、周囲に進んでいないので、誤解されることも沢山あります。経験者等の情報が伺えたら、参考になることが多いんじゃないかと思います。もう少し専門的に勉強して市の支援サービスを紹介、マッチング出来るような人材を育てていって下さい。発達障害も認知症の介護と同じでマンツーマンで介護している家族の負担が大きく似ていると思います。（父母）
- 病院からは何の指摘もなく大人になった我が子は特に障害に特価した支援が受けられずいまだに人とのコミュニケーションがとれず様々な支援施設に通えずにいる。発達障害の病院が小児のみで大人の専門科がなく、この後の医療支援が大変不安。精神の家族会にも入会しようとしたら断られた。発達障害は集団の中で生活するのが困難、特に自閉症スペクトラムなど知能が高い場合、一対の支援がされることを望む。（父母）
- こだわりや感覚過敏などは理解されることはあまりありませんので、しつけや育て方などが指摘される事が多く困っています。教育関係の方でも理解される事は少ないです。これらの障害を広く知ってもらうためには「発達障害」という言葉よりも「こだわりや感覚過敏がある人がいます」という具体的な言葉で広く伝えてほしいと、また「こだわり」という言葉は誤解される事も多い為、正しく伝わるようにポスターなどの啓発活動を要望します。（不明）

【保健・医療サービスについて】

- 発達障害は生来の障害なので治療の対象ではないので生涯困難が伴います。(不明)
- 埼玉県には、発達障害を診てくれる医師がいるのかどうか不明で、福島県郡山市まで2月に1回通院しています。所要時間は3時間位で、2人で新幹線で通院しているので交通費も高額となります。できれば埼玉県にも専門医の配置を望みます。(父母)

【教育について】

- 年度途中からの支援級への移動はできない等成長とともに変わっていく子供にその都度配慮してもらえるような環境があるととてもありがたいと感じます。また、中学校への不安が大きく、中学校で支援級を選択した場合、車での送迎が必須になります。保育園に通う兄弟もいるので、それぞれの送迎をし、今の仕事を続けるのは難しく生活自体が困窮する不安もあります。(父母)
- 発達障害について学んできた先生も少なく、発達障害について学んだ先生や保護者なら当然やらないようなひどい対応をする先生もいます。これから先生になる人だけでなく、ベテランの先生にも発達障害について学んでもらう必要があると思います。発達障害のある子供と普通級にいる子供とでは、声掛け1つでも受け取り方が大きく違うと思います。それに気がつく先生はとても少ないです。(父母)
- 本人が小学校の時から学校に行けなくなり、非常に心配した。今年の1月で20歳になったが十分に学べていないので何らかの学習支援を受け仕事ができるように育てていただきたい。(祖父母)
- 特別支援学校の教員が障害に対しての勉強不足で保護者の質問にこたえられない事が多い。もう少し教員に対して学習する時間を増やしてほしい。(父母)

【雇用・就労について】

- まじめなので就職すればなんとかやっているとしましたがコミュニケーション能力が低い事、不器用もあって半年で辞めることになり現在に至っています。あまりにも就職できないので思い切って障害者申請をした方が本人にもよいのかと、本人も辛いところだったので病院に通院し、申請しました。ところが1年以上たった今でも仕事が見つからず来年は30歳になってしまいます。発達障害の理解を企業に強く求めます。(父母)
- 親はいつまでも生きているわけではないので市内で働ける場所を増やしたり、その環境を整えたりしていただきたいです。(父母)

【福祉サービスの充実について】

- シャトルバスの運行時間を増やしてほしい。一日2本は少なすぎ。(父母)
- 障害者福祉サービスを受けるため市役所と関わる事が多いですが、各部署をいろいろとまわらないといけなかったりする事が多いと思いました。難しいかもしれませんが一元化されるとありがたいです。(子)
- ガソリン利用券をもっと多く支援して頂けると助かります。一万円分も支給して下さってありがたいのですが、全然足りていないのが現状です。(子)
- 事故やけがなどで手助けができなくなったり本人が一人になってしまった場合などの生活支援があるとよい。(配偶者)
- 子供がいただいている手当(お金、オムツ、ガソリンなど)全体的に足りていません。障害があるため、いろいろな事、物にたくさんお金がかかります。見直していただきたいです。(父母)
- 就労支援センターの方には本当によくしていただいて、少し精神面が不安定になり職場でうまくやっていた時には、よく支えていただきました。今後も、また人が変わっても同じような支援が受けられるようお願いしたいと思います。(父母)
- 同居して世話をしている母親です。フルタイム週5日(午前9～午後5時)ですがほとんど午後6時過ぎまで残業しています。しかし収入が少ない為非課税者です。ですので息子の自立支援医療費(精神通院費、月上限2,500円)は負担です。現在無職の息子ですのでゼロ円をお願いしたいです。※行政も大変だとは思いますが貧困世帯の支援をもう少し厚く考えていただけたらと思っております。(我が家は

息子が小学校6年生父親と別居、中学校2年生離婚でした) (父母)

- これから二人とも高齢になり、もしくは死亡したりすると娘の生活は成り立たなくなります。障害基礎年金とは別に、川越市の在宅心身障害者手当に適正な額(生活保護額程度)を補填してもらえらるなら、一人でも生活できるのではと考えています。生活全般では、介護給付を受けなければ成り立たないと思います。(父母)
- 公的機関では就労支援が行われているようですが、娘は、決まった時間に支度して通勤する事が困難です。その上、コミュニケーションが苦手で、仕事どころか、二次障害のうつがひどくなり、病状が悪化し、日常生活が出来なくなる恐れがあり、就労は困難です。(父母)
- 発達(自閉症スペクトラム) & 総合失調症と2つの病なので本当に今後援助するにしても市から「こういうサービスがありますよ」とか「こういうサークル活動がありますよ」情報を会員報みたいに各家庭(該当者)に届けてほしい。(父母)
- 私たちのような人々へ「月に一度、または半年に一度」くらいは、市の「精神&発達」のほうで専門家を家庭訪問サービスや困ったときに助けてと「SOS」できる電話対応、または月に一度専門家に各家庭に電話で相談や安否確認をするサービスがほしい。できれば私達にもわかりやすい「この人と決まった人」にしてくれたら安心します。家に対する専門の担当者が一名固定で決めていただきたかったとのこと。イメージとしてその担当の方へ伝えると必要な部門へ連絡がいき対応して頂ける。(父母)
- 暮らしを支える上で、生活面だけでなく金銭支援、家族支援、反社会的行動への支援など支援内容は多岐に渡し、現在の人員体制では足りず充分ではない。(GH職員)

- 障害者就労支援センターのようなかゆいところに手が届く障害者向けサービスを広げてほしい。妻は1回又は数回相談して、長く相談してないが、センターのレターがきます。仕事の意思確認とかはありますが、問題が解決するまでは市のサイドからの情報提供をお願いしたいと思います。(父母)
- 障害者側に立った福祉サービスの開示をお願いします。息子を連れて障害者福祉課へ行ったとき、その依頼者の処理だけで関連する、その障害者に対する手当の説明がありませんでした。知っていればもらえた手当ては、知らないだけでももらえない。窓口へ行ったら関連するサービスは案内していただきたい。(父母)

【その他】

- どんなサービスがあるかわかりません。どんな手助けが必要かまた理解の仕方がわかりません。(父母)
- 親子3人で生活しているので、私たち父母が亡くなったあと1人になるのが心配です。信頼できる人との出会いがあればいつも思っています。また、今は仕事をしていますが、お給料は時給の為1人で自立は無理です。少しでも援助があれば願っています。(父母)
- 引きこもりを伴うと(場合によっては必要と思われませんが)本人が社会に出て行くのに時間を要します。本、講演会、テレビなどから私たちも何が”糸口”を見つけようと必死でしたが、からまわりの事も多く、今に至ってしまいました。情報はあふれる程、ありそうですが、行政側も発信するに当たり、私たちが気づけるよう工夫していただけると有り難いです。(父母)
- 月～金は帰宅後、習い事がありお友達となかなか遊ぶことができませんが、近所に仲の良いお友達いてそのお母さん方にだけ、子供の障害について話をしています。周囲の理解もあり、みんなと仲良くさせて頂いています。空気を読めなかったり感情コントロールが上手くいかない時もあるので、悩みはつきませんが、通級指導教室の先生に相談にのって頂き現在頑張っているところです。以上(父母)
- 私共夫婦とも死亡後において、現行の法律では、娘は相続人に該当しません。遺族基礎年金の対象者は20歳未満で障害年金の障害等級1級または2級となっているからです。そこで、20歳未満の年齢制限を外すなら、娘も相続人になり、生活の安定が望めます。親の年金で生活している障害者を救済するため、法律の改正をしていただくよう宜しくお願い致します。(父母)
- 親が病気の家庭、シングル家庭には市としても段階ギアを落として付き合っただけだと良いと思います。子育ての発育面はデリケートな面もあるので不可能なのかもしれませんが、「ボーダー」を含む障害の可能性がある場合は子供のためにも一度は医師に診てもらい道へ進めていただきたいと思います。(父母)